

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(1-37)、MOX施設(1-37)）」

2. 日時：令和3年6月18日(金) 13時30分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、中川上席安全審査官、田尻安全審査官、大岡安全審査
専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃(株) 村野 理事 再処理事業部副事業部長 他16名

東京電力ホールディングス(株) サイクル技術グループ
グループマネージャー

関西電力(株) 原子力事業本部 原子燃料部門 原燃計画グループリーダー
他1名

日本原子力発電(株) 発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ 主任

中国電力(株) 電源事業本部 原子燃料管理グループ マネージャー

三菱重工業(株) 原子力セグメント 安全高度化対策推進部
主幹プロジェクト統括 他2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

参考

- ・ 日本原燃（株） 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年1月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html
- ・ 日本原燃（株） MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和3年6月10日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和3年6月16日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX施設設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の田尻別、それでは日本原燃再処理施設MOX燃料加工施設に関する設工認の審査ヒアリングを開始したいと思いますので本日の出席者ですが、規制庁川。
0:00:14	コサク調査官中沢法科田尻清水書かないとなっております。それでは日本原燃から出席者費用等についての説明をお願いします。
0:00:25	それで1点、それは本日をもって補助50ヒアリングを実施したいと思いますので、
0:00:32	発言される際やまで名前等しっかりいただくことと、マスキング箇所については発現しないように注意いただくとともに、PIN箇所について発言した場合はその旨をその場でも教えていただければと思います。それでは日本原燃からお願いします。
0:00:48	はい。日本原燃の藤野です。まず日本原燃側の出席者ですが、再処理事業部から村の
0:00:55	長沢。
0:00:57	高橋。
0:00:58	フジの
0:00:59	蝦名。
0:01:01	オオハシ
0:01:02	瀧川農林末、
0:01:05	斎藤。
0:01:07	田の戸。
0:01:08	高森。
0:01:10	ただ、
0:01:11	時、
0:01:13	田中。
0:01:14	MOXのほうから、高松谷口
0:01:18	藤原。
0:01:20	安保。
0:01:21	屋内それから三菱重工さんから松本さんとうちBさんが参加をいたします。
0:01:28	それでは資料の説明に入りたいと思います。
0:01:32	はい。無限レビューアです。それと本日はですね対象としている。資料ですが、ええと火山の07と08で外部火災の04となっております。07Asano0708については10日に提出したものを

0:01:51	で、あとは当課の外部火災の 04 につきましては 16 日に提出したものとなっております。それでええと火山のほうにつきましては、来これまでにいただいたコメントを修正したものを提出させていただいております、
0:02:09	特に論点はないと思っておりますので質問事項を言っていただければと思いますんで、外部火災の 04 につきましては、まだ
0:02:26	論点はございまして、その具体化ですね、すいません、外部火災の対策の妥当性っていうのが論点になると思っておりますんで、そちらについて議論できればと思っております。ただこちらも事前に資料提出させていただいて、
0:02:45	でございましてかつ前回のヒアリングからええ変更点というのはわかるように提出させていただいたのでこちらも同様に等でもいただければと思いますんで、あとですね、ちょっと 1 点を事前にお話。
0:03:01	7 ありましてマスキングなんですけども、外部機器が火山の 07 最初の資料の 3 ページ目なんですけども。
0:03:12	今下のほうにスピン具があるんですが、こちらはですね、
0:03:19	結論から言うと誤りで現状の資料構成というのは本部員は一般的な等一般で時てるとこになりますんで、ここはマスキングではございません。本日は長年共有等でちょっと必要があれば対応すること。
0:03:39	そして、再度また提出をしてさせていただきたいと思います。はい。
0:03:46	以上になります。
0:03:50	規制庁のパーティー別それではまずカタノのほうから始めたいと思います。まずマスキングの保障に関しては、今の御指摘のあったところの 3 ページの一番下のところに関して言うと、こちらに関しては変更強化のための費用においてそのままこう書いた文章いけマスキングという形で出されたようなものだと思うので、
0:04:09	マッピング箇所が発生することは設工認のヒアリングなどである程度仕方ないと認識しているんですけど、何でもかんでもマスキングされてしまうと議論の妨げにもなりかねないのでその点はしっかりとあります以下の精査した上で市税あの資料をつくっていただければと思いますが、こちらはコメントだけですと、
0:04:26	その上で中身について幾らか聞いていただければと思うんですが、まず 3 ページ目に関してなんですけど、
0:04:33	何か共通的な話にはなるんですけど、ちょっとどの施設に係るものかとかそういった話に関してなんですけど、資料のどこへ淘汰の竜巻とかといったところも含めて指摘はしているところなんですけど、火山に関しては、これは取引そういった点も反映したものでしょうかそれともそういったところはこれから反映していくということでしょうか。

0:05:05	日本原燃の橋でございます。その部分についてはまだ反映できておりませんので、共通の対象対応方針に倣って修正をしていきたいと思えます。
0:05:18	経常度です状況はわかりました。そういったところに関しては基本的に分かれていること認識はしましたので、ちょっと置いて事実確認をしたいんですが、今2ポツのところなんですが、
0:05:30	確定的に関しては提供建屋の中央制御室だけの許可の頃からと思うんですけど、明示しているところなんですけど。
0:05:38	使用率読み何をどうしてのほうの制御室の換気設備っていうのは、設計情報からの考慮は関係ないものでしたっけ。
0:05:59	日本原燃の橋でございます。ちょっと確認させていただきますので少々お待ちください。
0:06:05	規制庁立ち上げつつ、ここからの整理もあると思ってるんですけど、今別途出されてるけど言葉の整理の中で、
0:06:13	改めて制御室を
0:06:15	FGと提供しての話とかも出されているところなので、全体の適合されとっていただければ資料として整理するされていれば特に問題ないと思ってるんですけど、とりあえず気量場ということによりだけ御検討いただければと思えます。ちょっと今すぐできないのであれば、
0:06:30	また別途でもいいんですが、今状況はどんな感じでしょうか。
0:06:35	日本原燃の橋でございます。ちょっと確認しましたところを許可の断面ではF-1制御室のことは書いていないようですので最近の有毒ガスの方のヒアリングのほうではいろいろ子会社に限らず、
0:06:53	ここの債務者の大気汚染ですとかそちらのほうの話も出てたと思えますので、ちょっと整合とる形で改善の方にとどこまで記載が必要かということについては検討して反映したいと思えます。
0:07:08	規制庁田尻列、結局のところ、ほかの中操の制御室の宝刀Fの適用性の方で何の機能が求められていて何も対策しますよで何まで明示しますよという話だと思えるので、甘いなどで選んで変更許可の話も含めて整理いただければと思っているのですよろしくお願いいたします。
0:07:25	次7ページに行っていたらいいんですけど。
0:07:30	まず金額箇所が多いので、なるべく健康上発現しないようにはするんですが発言してしまった場合にはその点水源のほうから指摘いただければなと鮮新統したいと思えますのでよろしくお願いいたします。

0:07:42	なぜ巻き分かれていて、一番下のところなんですけど、韓国の話が課長書か れているところなんですけど、間所内容として書かれているものがあまり守り に関係しない内容が書かれてるような気がしてまして、
0:07:59	積極地盤の話が書かれてるんですけど、ここというのは摩耗の説明に必要な いよというのはどこでしょうか、そもそも観測事態に関して言うと、今的な配管 に近いようなレベルのものではないかというふうに認識してたんですけど、こ こで明言され明示されている理由というのはいくつかありますでしょうか。
0:08:38	日本原燃の橋でございます。現時点におきましては、今言及のあった箇所が 下からの吹上もあってですね、それが摩耗に影響するんじゃないかというこ とで書いてはいるんですけども、
0:08:56	おっしゃる通り、
0:09:00	静的な対象部位ではありますので、あまりそこまで連系しなくても自明なことだ と思いますので、ちょっとその部分については改めたいと思いますが、施設の 記載に改めたいと思います。
0:09:17	規制庁度です広めに書かれること自体は別にしているわけではないんですけ ど、静的な話、静的な構造物についてのお話しされたいんだったら、その構造 物の強度の話するであるとか、美術部単位の影響が出るものじゃないんだつ たらこっちの話を書かれるとかいろいろ考え方はあるかと思うんですけど。
0:09:34	今書かれてるものをというのは、どちらかという衝突荷重に近いような話が 書かれてるようなイメージになっているので、ほかの記載でもあまり並びがと れていないので、記載の検討だけをいただければと思います。
0:09:48	日本原燃の橋でございます。了解いたしました。おそらく慢性的な部分ですの で、降灰があった後の前点検ですとか報酬みたいな話が目になると思います のでちょっとその辺は検討して記載したいと思います。
0:10:07	規制庁田尻です。だから保守の話に関して言うと、特にはもうとかといったもの になると別にこの観測に限らず、全体に関わるような話かなと思いますので、 必要な記載を検討いただければと思います。
0:10:20	あと竜巻か何かのヒアリングでも同じように適用したんですけど、今例として減 速機の構造を示されているところなんですけど。
0:10:29	対象の設備に関して言うと減速機以外の原動機とかも出てきていて同じような 構造の話になるかと思いますが結局図面にそういった構造になってる大丈 夫という説明をされるのであれば、こちらに関しても付けていただければ願 いします。
0:10:45	日本原燃の橋でございます。竜巻のほうでそのような試験機をいただいている のは認識してますので同様に修正はしたいと思います。

0:10:57	日影響度列ちなみになんですが今みたいにですね先ほど冒頭でコメント対応はしましたっていうので多分前回の火山のヒアリングのコメント対応しましたという趣旨だと思ってはいるんですけど、ほかの水冷展開をやっているところというのであれば、そういった点は全体的に言うといっていたら指摘を2度手間する必要がなくなってくるので。
0:11:17	そういった点をご検討いただければと思います。
0:11:22	日本原燃をしてございます。了解しました責任はよかったです。竜巻の前回のヒアリングの件はちょっと資料を提出した後に聞きましたので、ちょっと反映できておりませんでした。失礼いたしました。
0:11:39	はい、規制庁ためにですね、イトウNo.07の資料は以上なんですが、ここが規制庁側から鉄塔ないかな、07に対する指摘等ありますでしょうか。
0:11:53	だから、
0:11:54	規制庁中ですけど。
0:11:57	前回、これ同じようにヒアリングをしたときにですね前回の資料ですと、まずは概要的なその許可から持ってきたような図が張ってですね、もう少しこう、詳細設計としての図面を持って、それぞれ
0:12:13	説明をするようにということで、本会ですね図自体はその盤少し詳細にはなかったかと思うんですけど。
0:12:22	その拡大した図に対してですねその進入の経路というのが、ちょっとこれはこれでちょっとまだ
0:12:30	概要レベルかなと思っていて、具体的なそのマスキングがあるところなんでちょっとあんまりしゃべれないのかもしれないんですけどそれぞれのそっちに
0:12:40	対するですね
0:12:42	具体的な対策、
0:12:44	その進入の経路とか飲まバウンダリとかそういうところがですね設置の試行を明確になるようにですね、さらに少し明確にしていきたいというふうに考えております。一応溢水とかそういうところに関係するところもあるんです。
0:13:02	のでそれはそれでまたそのときにお聞きしようかと思いますが、今モジュールですと何となく、
0:13:09	侵入する方向ぐらいはわかるんですけど、一つそれが
0:13:15	それでそれぞれのetのその構造なり防護措置、これがどこまで学協会をもってですねその防ごうとしているのかとか、
0:13:25	そういうところがわからないかというふうに思ってます、そういうところが明示的にわかるような情報を工夫していただければと思います。以上です。

0:13:41	日本原燃の橋でございます。了解いたしました。当図のほうをちょっと今わかるように修正したいと思います。
0:13:50	イトウコサクです。
0:13:52	同じ
0:13:54	空気例なんですけど、
0:13:58	外部火災の方で斜熱盤っていうのを設けるということになってたかと思うんですけど、それが、こちらのほうで薬液をしないのかみたいなことも、
0:14:10	あると思うので、図面はこれまでの図面というのではなくて今回申請後のものを低対応いただいたほうがいいかなと。
0:14:21	思っているんですけど、そのあたり、
0:14:25	認識としてはご最もですか。
0:14:32	日本原燃の原でございます。今回申請した対策、すべてが書かれた図面を用いるべきだと認識しておりまして、そういう意味ではちょっと反映漏れになってますんで配置した上で示したいと考えております。以上です。
0:14:51	直角ですよろしくお願ひします。
0:14:54	本件についてそんなに大きく影響すると思っははいけないんですけど、関係するときもあろうかなっていうちょっと全般の処置ということでお話ししました。他にも含めていただくようお願ひします。
0:15:07	日本原燃幅で承知いたしました。
0:15:13	景況感リリースほかにはないようであれば切り換えから-08と腐食のほうの資料について聞かせいただければと思います。
0:15:22	いや、
0:15:24	査定の概要部分に関しては先ほど指摘したのと同じところに関しては改めていきたいので同様に検討いただければと思いますと、ちょっと中身のところに行くんですけど10ページのところで、このちょっとマスキング箇所なので、
0:15:40	目ちょっと言葉に沖縄になるかもしれないんですけど、1ページのところでまず第1表のところなんですけど、設計と書かれているところに関係なんですけどこれ腐食に対する提携が買われているところと認識はしているんですけど、どこに書いてあるのは多分腐食に対する設計の関係ない設計これ単なる台と高台的な気がしてまして、
0:16:00	この材質だけでこうだから大丈夫っていうとこまで書かないと、職員に対する設計の説明にはならないと思うんですかその点はいかがですか。
0:16:25	規制庁対立が音声聞こえましたか。
0:16:32	はい。

0:16:34	右の田中でございます。と大差の恐山のご指摘についてパーツは確かに個別地震については使っている素材の話になってございまして、指摘としては、別途ご最もなところで腐食対応というよりかは、そういうものだっていう話になってございます。そっちについてそちらについてと
0:16:53	記載については見直しを図りたいと思います。以上です。
0:16:59	規制庁谷です。今ペン若干足で8ページのところで、この赤ということなんで、細かな言葉までは言及しないんですが、
0:17:07	パラでいうと4パラ目ぐらいのところからなんですけど、
0:17:12	先ほどの話がかかれてるとこなんですけど、ここに書かれてる内容で大丈夫と言っているのか、それとも堆積時間が短いような話なんで腐食しないという話をしているのかというところが今どちらかっていうと、形状の話を説明しているから大丈夫ですとか、運転状態だからみたいな話を書かれてるんですけど。
0:17:32	ここはちょっと腐食に対する対策としてはどれほどメインの話ですかね。
0:17:51	日本原燃田中でございますので、こちらについてはももとの使用している。先ほど申した通り材質のほうがかええとその腐食に対する影響としては主系統、主なところになってございます。それ以外に対して相まってということも、
0:18:06	あるんですけども、もともとそういう影響を受けることが少ないという意味でそういうことで、このような記載としてございます。
0:18:15	京急の田部井です。班の方に関して言うと、材質での説明をしてもう1個前のところの田地川もお話であれば、材質の話で説明されているという認識だったんですけど、放題率ではなく、ここに書かれている何とか呼び名とかってところで、直ちに腐食の影響を受けることはないというふうなんですけど。
0:18:35	今、運転状態だから大丈夫という話とかそういうことですか。
0:18:43	日本原燃田中でございます。
0:18:46	本件状態であれば大丈夫という話とも私私がさっき申し上げた通り存在する事態がそういう腐食しがたいものっていうことで、その腐食しがたいものっていう話については記載が足りておりませんのでそこについてはイトウ見直しを図りたいと思います。
0:19:02	経常単に列出して説明されたいんだったらそのところについてその根拠となる話とかも含めて示していただければいいと思うんですのでよろしくお願ひします。
0:19:12	下のページに戻っていただいてなんですけど、第2報の方にいけなんですけど。
0:19:19	ここでなんですけど先ほど外力の話との関連も出てきたかと思うんですけど。

0:19:24	この冷却塔の塗装という意味で言うと、ここのさらに外側に塗装のような形になるかと思うんですけど、その扱ひ系の新たに乗れ大学等々の方も結局腐食性耐腐食性持ってたような気もするんですけど、そのあたりはどのような説明になりますか。
0:19:50	日本原燃田中でございます。当冷却塔といたしましてご指摘の通り耐熱ええと、この後また話が出てくれと耐火塗装。
0:20:00	についてそちらについては同様に特色性能を有しているものと母材に対する特色性の持っているものとなっております。こちらについてはももとの冷却塔自体の明確等は塗装するところしないところがありますのでそこに対しても大丈夫だというふうに
0:20:19	示してるもので大過塗装の記載についてはちょっと整理し、反対をしたいと思えます。
0:20:28	規制庁の田尻です。悪影響がないっていうのは決めて上にはねて自明といえれば自明な話だとは思ってるんですけどいろいろ全体として見る設計が変わったような形にはなっているので考慮しているというぐらいほどぐらい置いていただければいいかなというふうに思います。あと18ページにいただてるんですけど。
0:20:46	ここを喋ん調べればある程度わかる話ではあるんですけど、ある団体役員の方角けの話をされていたりするんですけど、8ページのところで音等判読の話をされてたりすると思うんですけど、こういったものなどっていうところで、先ほど優先で決められた材質であれば、
0:21:06	ここに示されているものというの気配りやすいんですけど、男性アクリルゴム系に関して特に言及とかをしていないんですけど、これも塗装ハンドブックの中身に入ってるとかそういう話でしたっけ。
0:21:31	少々お待ちください。
0:21:54	日本原燃の蝦名です。すいません本件についてはですねちょっと
0:22:00	今、答えることができないので持ち帰らせていただきます。
0:22:06	規制庁谷れてるあんま基本的にそれを2とされているので、おかしいことはないと思うんですけどせつかくほかのところ台場こういう場で東西つかないようなことに関してはTBSされますよというのは示されているところなので、すべての代表出されるんであったりとか原材料と入れ替え、よくわからないんですけど、そう示されるのであれば当然大丈夫ですよというところをあわせて、
0:22:26	ぜひ見ていただければいいかなと思いますので、

0:22:30	はい、日本原燃の蝦名ですすみませんちょっと自明なところっていうのを大分記載をこちらが自明だと思うようなところは記載を大分省いてしまった部分があるんでそちら対応させていただきます。
0:22:43	規制庁縦入れ数の差することはできるんですけど、設工認の資料なので、明示するものは目DCいただいたほうがいいかなとBSと地すべりいただければ、説得力があるかなと思うんでよろしくをお願いします。
0:22:57	はい、日本原燃みたいです処置しましょう。
0:23:00	規制庁縦入れて 18 ページで続けてなんですけど、1 ポツのところ記載に問題だというわけではないんですが、今回この断定アクリルゴム系の塗料塗装するというやつが効果火砕物の対策として新たにやるようにも見えるんですけど、これはもともとやられたものでしたっけそれとも今回新たにやるものでしたっけ。
0:23:21	日本原燃者でございます元からやってたことで、新たにやることではございません。
0:23:27	規制庁田尻です。多分そうだろうなと思いつつあったのでここ何か塗料塗装することとし、包括化タイプがみたいな形で何か新しい対策としてこんなことやりましたというふうにも見えるんですけどすでにあった話ですでにこういったところが練られていてこういったものに関しては降下火砕物に関してしっかりだけ持ってるんですよ
0:23:47	持ってるんですよって話を言っていたら十分かなとは思うので、記載ぶりだけの話かなと思うんですけどよろしくをお願いします。
0:23:55	入院 2 社でございます。
0:23:58	一応の書き方がやるのはもうすでに建物があるわけじゃないところもあるので、そういうのも含めてどう書くかなんとところだったんですけどあのもともと考えていたのよ。そう考えたときに購入対応できるというふうな書き方で検討したいと思います。
0:24:14	規制庁田尻ですイトウわかりましたたら何かこう火災降下火砕物どっかでっていうところが少し変わっただけなので木製まだ物が建てないで、塗装がこれから乗りますよというイトウはわかりましたけど記載ぶりとして検討できるようならよろしくをお願いします。
0:24:32	日本原燃西原でございます対応させていただきます。
0:24:37	規制庁の田尻率等自分から外貨 308 は以上なんですけど、使うその他規制庁側から何か指摘等ありますでしょうか。
0:24:49	規制庁拘束ニュース。
0:24:51	田尻のコメントで包含されるのかもしれないんですけど。

0:24:58	アルミニウムカー
0:25:02	結構よりも腐食が
0:25:05	しにくいのでいいんですっていう
0:25:08	ここはそもそも結構は
0:25:11	塗装すると言っているので、比較としてあまり
0:25:15	良くない。
0:25:17	うんですけども、
0:25:19	それは結局暴露時間が短いとかそういうことにもなるような気がするんですが、
0:25:28	その辺りはどう考えですか。
0:25:35	年目ね皆です。
0:25:39	一方、
0:25:40	一般論として口座よりも、当アルミの方が
0:25:47	／耐食性が良いというふうなことを記載しているということです。
0:25:56	規制庁コサクですけどそれだけだと説明にならないので、ちゃんと説明し切れるように、
0:26:01	説明をしてください。以上です。
0:26:07	はい。日本原燃の蝦名です。承知しました。
0:26:18	規制庁、古作ですから念のため申し上げますが、その時に先ほどの保守だったり、時間だったり、いろんなファクターがあって、何もアルミニウムが不足しないんだっていうのを晴れていることではありませんので、
0:26:33	等にどう考えてるのかっていうのを説明いただければと思っております。よろしくお願いします。
0:26:39	すいません、日本原燃田中でございます。アルミニウムない特色については資料のほうの別紙に通し番号の 11 ページから 14 ページの間に記載してございましてアルミのほうの絵と降下火砕物
0:26:57	条件下においてね特色っていうのが程度っていうのは、こちらのほうに示してございましてとまって角としてはアルミニウムとしては腐食量は少ないという結果をここで御示しております。以上です。
0:27:11	規制庁田尻です。そういうことではなくてですねアルミの方が腐食しにくいの後でに認識した上で着色しにくいっていうだけで終わらせているのか、それともちよっとまだまだ東より低いんですけど、8 ページのところの 3 パラ目のところで一番最後のところみたいに、
0:27:27	すぐに腐食が進むような話じゃないですよっていうのと、先ほど田中から指摘あったような方針の話とかも引き受け手を抜けて一連の流れで丸別よねって

	<p>いうふうな説明をしたいのか、ある意味だからもういいでしょうっていう説明を繰り返したいのかっていうところの差だと思うので、その点は全体としてどう説明するかというところを検討いただければと思います。</p>
0:27:46	<p>はい。</p>
0:27:46	<p>日本原燃西原でございます。ちょっとそういう意味ではこの補足説明資料全体として、例えば2ポツのところの設計方針の書き方自体がですね、今論点というか言うべきことで帰宅に表現できてないところもあるので、</p>
0:28:03	<p>本来これはもう直接接触することを防止するということと短期的な腐食に対して設計上配慮するで長期的なものについては、このシステムって時貫入しかりするというのが、根本的な分布になりますので、そういうのがちゃんとわかるようにした上で、それとの関係で設計から外になってるか。</p>
0:28:21	<p>のところを説明するような構成で考えたいと思います。</p>
0:28:26	<p>規制庁田尻です。今石原さん言われたように、おっきな全体の方針は短期的大丈夫かどうかって話等々で、</p>
0:28:34	<p>何的に大丈夫かどうかという話と今回といった材質の話とかかされているところは多分そこを議題に行きたいためにつけてるんでしたらその位置付けとかをしっかりと説明していただかないと説明として完結してるのか、部分だけの説明だけしているのかってちょっとよくわからなくなってしまうので、資料としては整理いただければと思います。</p>
0:28:58	<p>規制庁たびりー規制庁側、規制庁側からほか何かありますでしょうか。</p>
0:29:09	<p>当該系統だけが原燃側から何か確認しておきたい点とかありますでしょうか。</p>
0:29:16	<p>日本原燃の蝦名です。原燃側からは火山については特にこれ以上ございません。</p>
0:29:24	<p>以上です。</p>
0:29:26	<p>規制庁コサクです。すいません。ちょっとそびれてしまって申し訳ないんですけど、そもそもですね、全体共通 07 とか、補足説明資料の構成っていうのをまた考えていくことになると思うんですけど。</p>
0:29:43	<p>またそれはやられてない状態で暫定的にこれが出ているという理解でいい。</p>
0:29:50	<p>そもそも何でこれ不足と摩耗が出てきてるんだとかっていうのもよくわからない。</p>
0:29:57	<p>形になってるんですけど、その辺りは構成なり、内容も含めて、</p>
0:30:03	<p>改めて整理していただいて出していただけるっていうことでいいですね。</p>
0:30:08	<p>日本原燃西原でございます。そこは御指摘の通りでございます。今 0 の関係で出してる補足説明資料を一応頭から全部並べた上で、主蒸気関係が当然</p>

	あって、ピンクが成立しないものもありますので、そういうの関係を整理した上で、
0:30:24	最終的な整理をさせていただきたいと思ってます。
0:30:29	規制庁コサクです。よろしくお願いします。その対応の中でこれまで何か効果は指摘したところがありましたけど、その中で対応できるような気もするので、
0:30:41	なるべく早くそういう形にしていいただければと思います。よろしくお願いします。
0:30:51	規制庁田尻です。当該火山に関しては規制庁が原燃が遅れでもなさそうなので次々冠水で外部火災の方の資料に入れたいと思います。まずは原燃側は、先ほどの説明を終えた形で有償かそれとも何か改めて説明をされますでしょうか。
0:31:08	日本原燃蝦名です。先ほどの説明でこちらからのセンターの説明というのは越えたという認識でございます。
0:31:20	規制庁たり列それでは、規制庁側から指摘等をお願いいたします。
0:31:26	規制庁放火です。
0:31:28	とりあえず、まず前提として、6月11日のヒアリングでこの内容が含まれてませんよというふうに指摘したもので、また今回も含まれてなかったものっていうのが幾つかあるんですが、
0:31:44	ちょっと現状の整理状況を確認させていただきます。まずですね
0:31:50	修復性工事の飛来物防護ネット等のねと干渉するところとかの細かい部材のところのあたり入ったところの施工とか計算方法っていうのはどの程度整理が進んでますでしょうか。
0:32:20	権限の中でございます。今のご指摘についてえと塗装する範囲が今明確になってきておりますのでとその上で、そのネットのものに対してネットの周辺の部分に対しても出て乗っていかうかっていうところがちょっとその表現の仕方とかでちょっと今、
0:32:37	整理をちょっと悩んでおましてそれは整理次第と資料のほうへ反映したいと思えます。
0:32:44	規制庁外すのよろしくお願いします併走それに関連してなんですけども発報時そびれ干渉したところとかあと各防護設計を補正もへの影響、
0:32:56	っていうのはどうという感じで進めていますでしょうか。
0:33:05	日本原燃の蝦名です。発報時の話については、
0:33:13	考え方というのをちょっと示さなきゃいけないんですけどそこがちょっとすいません現状記載がされてない可能性がありますんでその考え方を示した上でですねどこまで、それを

0:33:30	具体として相殺の部分表現するのかっていうのを検討されると思います。以上です。
0:33:38	規制庁加熱機よろしくお願ひしますメールの関連主体なんですけどその発泡が直すっていうのも、これは、
0:33:45	前回の会合の指摘事項の一つでいろいろ
0:33:51	検討している別添 2 の
0:33:54	航空機墜落火災と他事象の重畳のスキルを向こうで検討されているんですけど、指摘としてはね。
0:34:08	まずネットのっていうであると耐火被覆の発報の復旧、そういったところ、
0:34:15	航空機墜落災害が起こった後の復旧の時間とか、そのプロセスですね、もし考えとかわかりやすく説明してくださいというような
0:34:26	ことだったと思います。その辺の共通ルール資料に介護向け資料には、何かしら記載されているものなんでしょうか。
0:34:35	日本原燃の蝦名です。記載しておりますので、ちょっとすいません今お話があったように別添の通りでを重ね合わせの話は検討してて、そんな中で、実際ネット
0:34:52	施工とかの実績を踏まえて、6ヶ月という数字を置いて
0:34:58	検討はしたんですが、結論として明確にそういった記載にはなってなかったので、そちらは追加のこの資料のほうでも修正させていただきたいというふうに考えてございます。以上です。
0:35:12	規制庁ヶ月よろしくお願ひします。その辺は介護の資料にちゃんと含めていただけるようお願いいたします。
0:35:23	えっ。
0:35:24	規制庁かですねあと全般的なところではもう
0:35:30	このプロジェクトかなと思いますが、本文側で基本ロジックの関係もありますので、そういったところをいくつかしていきたいと思います。
0:35:39	まずこの資料の 3 ページ目から 4 ページ目にかけてその設計の基本的な考え方に交通です。
0:35:48	大分議論を重ねてまとまってきたところかなと思うんですがまたちょっと幾つかありまして、例えば②の 0.0203 の、これ何を
0:36:03	愛して書き分けているんでしょうか。
0:36:21	日本原燃の蝦名です。うなる 2 の応募は
0:36:30	施設の設計の条件ではあるんですが、ちょっと書き分けたのはですね右のほうは、

0:36:40	一応加西 2 インチが替えの位置がここですというのを書いたのが②のほうで③はですね、その他のその他の考慮ということで資金で発生。
0:36:57	スタートという特異性があるから、その他の事象、これがその他の事象に繋がるといって③のほうを書き分けたというつもりです。以上です。
0:37:14	規制庁岡です。その他というのは何でしょうか。
0:37:31	日本原燃例外早々お待ちください。
0:37:47	日本レビューアです。ですね、この資料で言うところの 7 ページの 4 ポツ 4 がその他の考慮ということで、先ほど言ったもんから展開されるもんだというふうに考えてございます。以上です。
0:38:09	規制庁コサクですけど、また C-2 兆としてこの 4 ぽつ 4 が非常によくなくて、
0:38:16	この位置にこれがあること自体が、
0:38:20	整理ができてないということを証明してるような気がするんですよ。
0:38:25	それをさかのぼると、先ほど言ったように②、
0:38:28	下が③が抜いていくられてるっていうことが問題になってるっていうことだと。
0:38:33	思うんですけど。
0:38:35	何で 4 ぽつ 4 は、
0:38:38	続きにされてて、その他なんでしょうか。
0:38:50	日本原燃蝦名です。今回の設計。
0:38:58	システム上でですね
0:39:01	ちょっとあれですね今のお話を伺って耐火被覆の話が論点だということであってそれが頭の中に強くあり過ぎて現状のような構成になった。
0:39:17	出るのかなというふうに今気が付いたところですよ。以上です。
0:39:26	規制庁の川です。そういうことなんだろうと思う。いますんで、②の 1 ポツで、その辺も含めず今その他で分類してるようなものも含めて、
0:39:39	出ていると考えていましたので、
0:39:42	そんななぜ分けているのか分けるのであれば、あけたときに、何かしら借りてご審議繋がっておそらく分ける必要はないかなと思っております。
0:39:51	多分あるんでしょうか。
0:39:54	はい。日本原燃蝦名です。今の御指摘を踏まえてちょっと我々も気づいて、
0:40:02	気づきましたので修正したいと含むように整備したいと思います。以上です。
0:40:11	1 規制庁返すよろしくお願ひします。あと、⑤のところ、これ何度も
0:40:18	いや、このと出しているようなところではあるんですが、⑤のポツの一つ目から遠隔可能始まっているところがやっぱり
0:40:30	農協温度超える場合にパツて 10 ところから始まっているっていうロジック的にはやっぱりちょっと

0:40:39	繋がらないというか、何でそれが前提なんだっていうところから考えてしまうんですが、減免の設計としてはマニュアルで、航空機墜落火災が起こるっていうような相当厳しい条件でもコンパクトな
0:40:57	設備を土地利用等で、
0:40:59	コンパクトな設備を作るから
0:41:04	ただ、その鋼材離隔距離が十分とれなくなるから。
0:41:09	毎年服等の防護策っていう先行例の単位のものを使いますよっていうようなところが今論点になってきているところなんだと思うんで、この展開がもう初めから
0:41:23	を作つくるの共用の声のように設計して防護柵する定数じゃなくて何でそういう設計をするのかっていうところを
0:41:34	論じていただければと思います。日本原燃蝦名です。失礼しましたこちらなんです、本日お出しする、
0:41:45	当課海盆資料の中ではですね順番としてはええと防護対策というのは環境だとか説法性を考慮した設計とするとすいません。当するっていうのはあってで、
0:42:02	施設の安全機能を踏まえた設計の結果を超える部分には、対策をしますということを書いてあって、摺動部というふうにならんと順番は見直しておりますんでそういった形にこちらのほうも修正したいと思います。以上です。
0:42:20	はい。介護資料のほうはまた確認しますがそういうふうになっているんですからおそらく違和感はないんじゃないかなと思いますので、こちらもよろしくお願ひします。
0:42:33	そうですね、本資料の全体的にいいというか、そこちょっと入ってくるところで随時があるんですが、
0:42:45	タイトルもなく、数字が増えるようなところが結構あってる説明で、これはこういう位置付けでワット利用しているのかっていうところがちょっとはじめにと思います。
0:42:59	例えば4、4ポツ2のほうの通し6ページ目の
0:43:05	(5)とだけ書いて追而となっているんですが、これってどういう意味ではクドウとする。
0:43:12	日本原燃の笹森でございます。今ご指摘いただいた(5)の辻でございますけれども、ここはですね第2回申請とかが入ってくる設備の分類をもうちょっとまた踏まえて、増やそうとしているところでございまして、その辺の整理がちょっとまだ終わっていないのでちょっとすいません言葉としてはあるんですけどは可能。
0:43:32	粹取りとしてちょっと記載させていただいたものでございます。以上です。

0:43:37	規制庁からです。海里であれば、そういう都立維持ってようなことは要らないんじゃないかなと4ポツ1 そのちょっと上にIV次回申請予定ともありますので、ここはすべて降ってるところ名かつ
0:43:54	ですので、むしろなたりと思います。
0:43:58	まだ括弧でバス通り沿いがされているだけだとちょっと何をこれのかなというふうにマイクを確認しなきゃいけなくなりますので、そういうのは要らないんじゃないかなと思います。
0:44:13	日本原燃の笹森でございます。趣旨理解いたしましたのでこういったところはちょっと表現すべて削除したいと思います。以上です。
0:44:22	決めちようコサクです念のためですけど、書き方の問題だと思うんですけど、4ポツ2の文章のところですね、まずは今回の申請部分ですということやって
0:44:38	4ポツ1で追隨している部分ついて
0:44:43	次回以降、このことについても
0:44:48	整理して入れていきますっていう意味合いがわかるように書いておけばいいんじゃないですか。
0:44:57	日本原燃の笹森でございます。了解いたしましたその旨ちょっと一方に宣言するようにいたします。以上です。
0:45:08	規制庁ほかです。
0:45:10	それではですね。
0:45:14	本文のほうこれから別添とかベースのほうもいろいろコメントを確認したいことがあります、そちらを踏まえていろいろまた法令4直していただければと思うんですがちょっと先ほどページ目。
0:45:29	ちょっと話題に上がった4004 その他の考慮っていうところをしてページ目の4.4 その他の考慮というところに、
0:45:38	当熱ひずみの影響について検討の結果が書いてあるんですが、
0:45:43	起こって、実際結果は別添どっか別になかったんですが、どういう多数でしょうか。
0:45:53	日本原燃の笹森でございます。おっしゃる通りですねすいませんちょっと資料化が間に合わなかったので、次回の提出時にはですねこの辺を別添としてそろえてお出ししたいと思います。以上です。
0:46:07	ちなみに結果のみを確認してございましてちゃんと許容値以内であることが我々のほうで確認してございます。以上です。
0:46:15	規制庁風です。ここに書いてあると思うのであればそれでいいんですが、数値に確認させていただきます。

0:46:26	もう 14 ページのところの投資 14 ページの
0:46:32	日耐火被覆の(3)施工管理所の
0:46:41	2 行目から一方で耐震性能たり担保するか明確化被覆厚さに上限を設ける設計とすることな平行施工管理の設定のほうには研究にはなかったんですが、
0:46:54	ここ前回もちょっと説明があると思って漁業管理っていうのをちゃんと
0:47:02	別途別添のほうにも反映してもらえたらなと思います。
0:47:08	だからまた確認
0:47:11	はい。
0:47:12	日本原燃田中でございますけど、先ほどのご指摘レート上限に等の記載につきましては、前回ヒアリングで御説明した通り昨日記載としてと性能担保する上ではそこについては関係ないということで、そこについての記載は毎日削除をさせていただくという。
0:47:29	いう宣言をさせていただきましたでここについてちょっと削除の方ですねときさ、作業でちょっと漏れがあったようなので、ここについては削除したいと思います。
0:47:43	ちょっと補足ですけど、ごめんなさい。
0:47:48	性能の耐火性能の上では上限定めなくていいのはわかりますけど、それとここで書いてある内容違うので、本当に削除でいいんですか。
0:48:00	耐震性能の
0:48:03	制限での管理ってどうするんですか。
0:48:13	日本原燃田中でございます。そちらについてはこちらについても前回ヒアリングで御回答差し上げましたけれども、被覆管の上限をなくしたところへと残すことによって耐震の影響はどうやって管理するんだっていう質問に対しに対してですけれども、一つについてはと使用した間の感想で管理ができるというものと考えてございます。
0:48:33	そのようにちょっとこの記載は再度検討します。以上です。
0:48:40	規制庁コサクです。それも含めて明確にさせていただくってことかなと思います。
0:48:47	いましたので、よろしくお願いします。
0:48:50	日本原燃田中です。承知いたしました。
0:48:56	規制庁壁ですとL1 と 15 ページ目をした熱盤専任者別盤なんですけど、ここを前から変わってなくてですね。耐火被覆のその前の 8 ページの改革寄付のところ非常に

0:49:11	充実した設計の結果なっているんですが、8.2のところはまず基本的な考え方がぐらいいかの程度の設計の結果っていうのを組み合わせて書いていただければと思います。
0:49:27	前回も
0:49:28	コメントを出してますので、同じコメントになりますので、そこら辺どういう状況でしょうか。
0:49:38	日本原燃田中でございます。当本部日程等済ませて申し訳ないです。とほぼについて記載がほとんど変わってはおらつくらなきやいけないんですけども、一応設計の結果として、その物の構造としては別紙の少々お待ちください。
0:49:55	規制庁化ですとそれはワークしてます。そこは確認した上で本文側をもうちょっとちゃんと被覆のほうが非常に
0:50:04	自立した際にフリーになったんですが、する熱盤はそのまま考え方と書いてなかったの、ここは
0:50:14	合同対策を書くところで耐火被覆のほうで設計を書いていますので、
0:50:21	考え方だけじゃなくて、ちゃんと設計まで書いて欲しいという
0:50:26	予測当ててくださってというコメントです。
0:50:30	日本原燃田中でございます。ご指摘理解いたしました設計の内容についてもと記載したいと思います。以上です。
0:50:38	成長お金ですよろしくお願ひしますすいません規制庁コサクです。すいません、私は全部見てないので、今の話はその後議論するんであればそこまで待ちますけど、しないんだったら内容をちょっと確認したいんですが、
0:50:53	当されますか。
0:50:57	通帳化ですと私は構いません。
0:51:02	規制庁コサクです。案であれば、どこで書かれているのかというのを聞かせていただきます。
0:51:16	少々お待ちくださいてください。
0:51:23	日本原燃、蝦名です。今ちょっと探します忙しくです。
0:51:28	投資できる 26 ページからは立って、
0:51:42	日本原燃田中でございますけれど、通しページの絵と 126 ページのほうに物の構造のほうへと記載してございます。
0:51:58	規制庁コサクですけどそもそもはこの資料何かっていうと、
0:52:03	冷却塔の評価書とかがよくわかんないものになってるんですけど、何でここで書かれてるんですか。

0:52:12	日本原燃田中でございます系統冷却塔の必要な評価部位に対して止ま防護対策をとっているものの中の一環として、当社熱盤のほうを登場させております。
0:52:24	すいません。規制庁コサクですけど、そもそも我々はですね、評価をした結果を一体のでは、まずまだなくて、設計コンセプトを説明していただきたいと言っていて、
0:52:39	設計コンセプトを聞くのに評価書を見なきゃいけないという書類構成をしていること自体が疑問だと思って今お聞きをしました。そういった思想はずっとこのヒアリング何回も申し上げているので、
0:52:53	もう対応いただけないといつまでたっても終わらないということですから、よく考えていただきたいと思うんですけど、それはもうコメントとして、謝絶版としてはどういう設計なんですか。
0:53:18	日本原燃田中でございます。当社熱盤へと冒頭の冒頭の御指摘について当失礼しましたと装置といったそちらについてはない様のほうへと見直します。3月版の設計といたしましては
0:53:32	当輻射の方が直接 当たるものでかつそれに日負荷が大過飛行雇うできないものに対して当社熱盤により、その被覆のほう、
0:53:46	遮る形でと守るというコンセプトになってございますが、そちらのほうは、通しの126 ページに書いてる通り、
0:53:56	こちらにファン駆動部の方の中のものを守るような形となってございます。以上です。
0:54:08	日本原燃の蘇武でございます。すいませんちょっと少し補足させていただきますと、熱盤の簡単に今さっき田中が申したような概要がですね 7 ページのほうには簡単にちょっと図でお示しのほうさせていただいております、
0:54:24	斜熱万のまず設計、設置範囲といたしましては簡単な発生が簡単で申し訳ないんですけども、会員から防護対象が受ける輻射を全部遮るように設置をするというのがまず範囲の考え方でございます。あとはベースメス 5000 先ほどの
0:54:42	それぞれのページから 10、
0:54:44	8 ポツにちょっとなるんですけども、あとは設計の過程におきましては、ええと竜巻襲来時のですね風に対してラッパしないこと、また地震時にですね、そちらはそちらにおいても斜熱盤が落下しないというのを考慮した設計をすると。
0:55:01	というのは設計コンセプトとなっているかと思えます。以上です。
0:55:12	規制庁コサクですとそこはありがとうございます。今のため輻射も踏まえたと言いながら、

0:55:25	部署が防護対象部位に当たらないよと。
0:55:29	というのは具体的にどういう形になっているのかというのが先ほど言われた投資126ページの図ではわからないんですけど、今のポンチ絵とこれが整合しているように見えないのは何ですか。
0:55:52	もっと着29ページの図で話をしたほうがよりいいですか。
0:56:04	この
0:56:07	真ん中になみ線が入っているので、適切な
0:56:14	経常にはなっていないのかもしれないんですけども、どの範囲に施工すればいいかっていう、これも設工認なので、ちゃんとその寸法、配置も含め、適切かっていうところまで見なきゃいけないんですけど。
0:56:31	説明として不十分なんな気がするんですけど。
0:56:37	それはもう考えてはいるんですよ。
0:56:41	日本原燃田中でございます。考えといたしましては、今回は冷却塔なので、冷却塔、冷却塔に対する輻射なので竜巻が港の方の外郭部から、
0:56:56	複写が入ることを想定しております、その外郭殻ですねと車線を
0:57:02	輻射の線引きひきましてそれがやと十分下げる位置に位置と大きさを出して配置をしてございます。
0:57:12	はい。まず、
0:57:15	地表面っていう関係だと下から覗き込んで遮それでも遮られるかっていうことだと思うので、この斜めに引っ張ってるラインは斜熱盤のセンターに引くのではなくて、
0:57:30	下面下端に引いて、
0:57:34	その延長で当たるものがないかということですよ。
0:57:42	日本原燃田中でございます。通すこちらへその通りでございましてええとまあ下げツバの大きさという観点からはそのような考えになります。一方こちらのほうでは止ま輻射の計算の複写の絵と入力計算なので材料の中心のほうに
0:58:00	当たるように、浅部引いてございました。以上です。
0:58:05	規制庁コサクです。まずこの図面というわけじゃなくていいので寸法配置が適切であることの説明としてそういうものを作ってください。同じく上どうなりがこれ全周ますから、よく方向はいいのかな。
0:58:23	ウェイ側といったことだったりということで、
0:58:29	整理いただければと思うんですけど、上はあれですかね、ファンリングの上端、
0:58:34	洞道機構メールかどうかっていうことですかね。

0:58:47	今のは非開示でした。
0:58:50	日本原燃田中で正当。
0:58:52	ちょっと上面というのとはかさちゃ熱盤の高さのほうの話でしょうか。
0:58:58	そうです。
0:59:00	日本原燃田中ですね等上というような高さにつきましても、下から飛び込みがえと下側上端側と片側に対しての広がりで行っておりまして、系統人通しの129ページの例で、
0:59:18	言いますと減速比が完全に見えないような高さというふうな設定になってございます。
0:59:27	規制庁不足ですけど、ファンディングより上からは入ってこないっていうのは、
0:59:35	どこかで説明がされるんですか。
0:59:38	日本原燃田中でございます。
0:59:42	パンリングの当行につきファンリングのほうからの複写が入らないっていう説明につきましては、
0:59:50	どこにやっぱすぐどこの会社が出てこないんですけども、前回ヒアリングでは半リングのほうにも塗装し今それは社内ツバの役割をする旨とお答えをしておりましたねと。それに対して、その効果を見込んで入ってこないというふうに考えております。
1:00:09	規制庁コサクですすいませんファンディングよりも上の部分から進入経路はないかということなんですけど、それはそれも含めて全体として、
1:00:22	火炎の
1:00:25	想定との関係で全体的にその配置がわかるようにしていただければと思います。よろしく願いいたします。
1:00:36	すいません三菱重工松本です。
1:00:39	一般リング蓋をの方には観測があって、観測とファンリングの間には下部プレナムっていう構造がありますんで、上からの減速機なり電動機に対して複写が入ることはございません。
1:00:55	以上です。
1:00:57	規制庁、古作です。その辺りがわかるようにしておいていただければということですのでよろしくお願いします。
1:01:14	震源いただくイメージ田中でございます。はい、聞こえ超えておりますけれども対応いたします。よろしくお願いします。
1:01:23	規制庁、古作です。加算してください。
1:01:27	はい、規制庁から本文の話はこれぐらいなんで別添1に移りたいんですが本部についてとか下限規制庁側から何かありますでしょうか。

1:01:42	規制庁コサクです。本文細々いっぱいよくわかんなかったり書き方が悪かったりっていうのはあるんですけど、おそらくこのあと別添で話をしていく中でそうそれも本文に反映してねって言われると思ってたんですけど。
1:02:01	そういう理解でいいんですよね、先ほどそういうことでお話したつもりでした。
1:02:07	すみません。なので、本文はそのあとにまた振り返って足りなければ聞こうかなと思ったんですけど、それでいいですか。はい、規制庁かでそれで結構です。
1:02:23	そもそもですそれでは続きます。
1:02:26	規制庁ヶ月それでは別添 1 のほうから現場に行っていきたいと思います。まず別添 1 の評価対象航空機の選定なんですけど、これは何度もやはり前へだんだんが落とされるって言うって言う。
1:02:42	そうですね格子 22 ページ。
1:02:46	のになる必要時間の算出の心燃焼速度の物件費が記載されていけば、次のページ、23 ページ目の
1:02:58	共同上のところ、そこ燃焼速度合併がそれが燃焼速度が高いから。
1:03:05	それで燃焼速度をがなかった 20 ダブルスタンダードみたいに、
1:03:10	何かなっていて、ちょっと記載を整理してもらいたいなと思います。だからでしょ。
1:03:21	日本原燃の斎藤でございます。こちら外部火災で使用している燃焼速度につきまして、整理して、
1:03:30	どういったものが使われているのかということは整理して回答いたします。
1:03:35	規制庁仮設辺りは同じ辺りに結局なるんですが、どちらも
1:03:41	そこをちょっと整理していただければと思いますのでよろしくお願ひします。あと警備の話なんですけど、23 ページ目の第 3-2 を
1:03:50	そう。
1:03:53	単位の書き方とか、イベントをそういう形です。いろいろごちゃごちゃしてますんで、少しぐらいにさせていただけたらと思います。
1:04:05	25 ページ目。
1:04:08	の第 3 の 3 相の輻射強度、
1:04:11	の算出結果が
1:04:21	これ、輻射強度を示すというふうに書いてあって実際輻射強度が書いてないっていう状況です。症自体が輻射強度の算出というタイトルで進められてますので、そこ。

1:04:34	Tall決議論じるために、輻射強度が必要ということはないんですが、記載の整合はありますので、そこは確認していただければと思いますがいかがでしょう。
1:04:46	日本原燃の斎藤でございます。第3-3表名称強度算出のためのパラメータと題しておりますが、この形態係数輻射発散度のみが並べられていて、先ほどが記載されておきませんので、こちら記載については、適正化いたします。
1:05:04	規制庁コサクですけど、記載ぶりをヒアリングで話す必要はないと思うので、今後は控え、
1:05:12	話をすればいいと思うんですが、今言ったのはその表題ではなくて、ウェイ3行目のところ算出結果をっていうところが
1:05:22	パラメータダムそれと表題がずれていて、内容もずれているということなので、算出結果をっていうことで文章書くんだったら兄弟もそういうふうにして今日の中でも、
1:05:37	算出結果である区先ほども改定ということだしっていうことで、別にどう。
1:05:44	記載があていれば別によって内容としては我々としては把握できるので。
1:05:49	現在の中で、そういう表現が適切になるように全体見といてくださいっていうことだと思います。
1:05:56	すべての中でその通りでしてずっと所消費書いてある文章と整合してないということで、これは今回の修正でになったっていうところではあります。また全体を見通してですね、そういうところがないかっていうのをちょっと確認いただければと。
1:06:13	と思いますが、本資料がかなりヒアリングでますので、それぐらいなんですが、ほか規制庁側から何かありますでしょうか。
1:06:28	特にないようでしたら別添に航空機落下火災等他事象との搭乗というこちらのほうに移らせていただきます。
1:06:36	こちらにいろいろ
1:06:39	拡充してもらったんですが、
1:06:42	になるところとしては1のはじめにのところで、
1:06:48	これ養鶏
1:06:52	よっていうまでは読み取れないがとかそういった表現が何かいろいろ書いてるんですが、こういう記載は、
1:07:00	本当に必要なものは何でしょうか。
1:07:06	日本原燃の橋でございます。特に必要と思っではないので削除しても構いません。申し訳ありません。

1:07:15	規制庁仮設の評価でもこういう
1:07:19	内部事象、
1:07:21	印字相当自然現象の組み合わせみたいな話はちょっとやっててそういうときも、必要だと思って淡々とやっているというような感じで出てる印象があまりよくないのでこういうことを想定というところはちょっとわかりがいいんじゃないかなというコメントです。
1:07:38	これは初めのところはいいんですが、34 ページ目。
1:07:47	いつものか原因と航空機墜落火災の航空機つい落下確率の下限が今釣り人による積載予定だったんですが、
1:07:58	これ何か使うんでしょうか。
1:08:02	日本原燃の将来するところは一応MOXと再処理と両方を記載しようとしてたんですけどまだちょっと修正が間に合ってませんで、MOX落下確率が入ってませんので、これは追って修正をかけたいと思っております。
1:08:20	規制庁仮設
1:08:23	六つの
1:08:24	落下確率が入ってたら何か
1:08:28	結果が変わるんでしょうかと下限ですよ。どっちにしている。
1:08:33	日本原燃の資料でございます。結果は特に変わりませんし、どちらかという確率が高いほうで評価をするのが適切だと思うので、特にMOXの結果は影響するということはないですけれども一応両方を
1:08:48	念頭に置いた検討しているということを示していたというだけのものがございます。
1:08:57	はい、規制庁からです。報告されるのであればそういった旨をどっかにかかっているだけでもいいんじゃないかなと、あえてこういうところで数値を入れる必要はないんじゃないかなと思うコサクです。掛かんすみませんが、そういう記載ぶりはもうやめませんか。原画考えればいいだけの。
1:09:15	はい。
1:09:19	規制庁お金です。すいません。
1:09:22	35 ページ目。
1:09:26	ここで自然現象等で組み合わせをやっていまして、
1:09:32	当竜巻の年超過確率で今航空機墜落火災
1:09:41	一方、2 ポツ目ですね、航空機墜落確率と竜巻の年超過確率の
1:09:51	教条等、36 ページ目のほうでもと今度はネットが破損した場合のことが書いてあってこのような初めのほうでも、ちょっと先生になりますよというふうにし議論したところなんです、その

1:10:06	35 ページ目の 2 ポツ目のほうの
1:10:11	航空機墜落火災、
1:10:14	残った後にネットが壊れないっていうようなネット破損しないというような整理になってると思うんですがそれを実際にこころネットって何度ぐらいで損傷するとか、
1:10:26	ネットマ無事なことってあるんでしょうか。
1:10:44	日本原燃田中でございます。ちょっと質問の意図をちょっとうまく掴めなかったので、ちょっともう一度お願いできますでしょうか。
1:10:51	規制庁、川です。予算 15 ページ目のほうのAと航空機墜落の火災の影響を竜巻の絵の重畳のところ、これネットワークGTで動き墜落火災のみが
1:11:07	学校に影響を与えているというような整理だと思うんですが、実際のところをどういうふうに飛来物候補にそのネット部分が損傷しないことってあるんでしょうかという、
1:11:21	単純な質問なんですね。
1:11:26	日本原燃田中でございます。当竜巻防護ネットに対して航空機墜落火災があった場合
1:11:35	あと資金で火災が起きるわけですからその状態でネットは無事だったっていうのはええと言い切れないと考えてございました。
1:11:44	以上です。
1:11:46	はい、規制庁からそれでしたら、この 36 ページ目のほうに包絡されると思いますので、ここに入っていきが必要ないなっていうところが 1 点と、あとですね、航空機墜落火災が起こった場合起伏は傍聴してしまって、
1:12:02	この発泡と。
1:12:05	これは発行時は
1:12:08	普通に行く路線を持っていると思うんですが、もう
1:12:14	脳復旧も考える以降やっぱりへと温度が戻るだけじゃないと思うんですがその辺の整理ってどうなってます。
1:12:27	日本レビューです。まず発報についてはアップさ、走時たりうまく自体については、施工のし直しが必要になるし、その施工し直すまでは発報してるだけ出たまずは、
1:12:45	断熱性能は持ってるんで、あとは当行材につきましては、当町 100 クドウぐらいまでは予想してもまた元に職種
1:12:59	温度が下がったときに郷土なヶ月前にやろうとやるというふうな文献もありますんで、そこについては存在自体は復旧。

1:13:15	とかそういう話ではないかなと我々も復旧しなきゃいけないと思ってるのはネット等をその耐火被膜
1:13:23	というふうに考えてございます。以上です。
1:13:28	それ超音波ですよと、発泡速やかに復旧ルートというか前とその塗装をとって、新しい塗装つけるっていうような作業なんですよ。
1:13:43	日本原燃田中でございます。まあ手順といたしましてはまず基金の状態を確認してもアップして反応したところはもうすでにたい方向かと量としてはもう使えなくなりますのでそこに部分についてはすべて塗装を撤去して再施行となります。
1:13:59	その際にネットの破損した部分もすべて取り外しまして、新しいネットができてないのそれを取りつけるといったような手順になります。以上です。
1:14:09	一方、成長からです。そう。その上でなんですが、35 ページ目の整理上、
1:14:18	1 年のうち、航空機墜落火災の影響が及ぶ期間というのが 365 分ニチレイそれから今度は戻るからっていうだけなんです、地震とか火山の場合、
1:14:30	それでも
1:14:32	大間の設計の期間っていうのはここに見込まなくていいんでしょうか。
1:14:49	鉛直断面ですけど、すみません、まずはネットの復旧の見込まなきゃいけないっていうのは御理解いただけてますよね。
1:15:01	日本原燃の資料でございますが、理解してます。
1:15:05	1、
1:15:06	規制庁の古作ですけど、その上で今の塗装等をネットの復旧との関係でどっちが先かみたいなものもあって、
1:15:14	ネットの復旧を考えればおのずとそこまで入るのであれば、その期間見込みなのを整理していただければいいだけになるんですけど、どういう関係ですか。
1:15:31	特に運営単価でございます系統を相当ネットの復旧合わせても 6 ヶ月程度というふうに考えてございます。
1:15:42	規制庁コサクです結果として、両方の復旧、全体の復旧を踏まえた評価になるっていう理解で
1:15:50	2 ばいいですかね。
1:15:52	火線それであればいいですか。
1:15:55	規制庁かですね、そういう考えできちんと火山も同じように考える必要があるという認識でよろしいでしょうか。
1:16:10	規制庁コサクですけど、笠名ちょっとあの頭の整理なんですけど、
1:16:16	実際は復旧作業はあるんだけど、ここで言ってるのは、その後、

1:16:21	発生する現象に対して耐性を持っているかどうかということで、次に竜巻が来るっていうときには竜巻の飛来物防護ネットの機能が必要だから、その復旧のことを考えなきゃいけないっていうことなんですけど。
1:16:41	地震のときには、
1:16:44	学校があればいいっていうことだとするとネットワーク、
1:16:52	特に復旧。
1:16:54	知られてなくてもちゅ耐震影響として、復旧の間、荷重が増えるのであればちょっと別かもしれないですけど。
1:17:03	全く所定よりはそうそれぞれ状況考えて評価っていうことじゃないかなっていう気もしたんですけどどうなんですかね。
1:17:09	同じです。
1:17:13	規制庁つもりです。そうであれば、
1:17:16	復旧の
1:17:17	ことも念頭に評価期間をどう考えるのかってを明確にして整理をしてくださっていうことに使うということですいませんでした。はい。
1:17:28	日本原燃の蝦名です。今まさに議論があったところでちょっと我々の表現がよろしくないのかもしれませんが考えるべきは影響あるべきか、火災で影響を受けるのはネット
1:17:43	ということで指示が放置では加熱がおさまれば元に戻るとということで、他の火山とか地震っていうのは無理に影響がないことで、当竜巻に関してはネットが影響を受けるので。
1:18:00	その復旧期間の間に竜巻が来るか来ないかという話を論じて十分に低いんで、我々が見込んでいる6ヶ月で復旧すれば、大丈夫というふうなそんな幾つになってございます。以上です。
1:18:18	規制庁形で先ほどちょっと議論にあったんでその地震や火山、
1:18:25	もうの対応のための一つに思っ
1:18:29	耐火被覆を復旧している場合が、に関わる
1:18:35	期間をどういうふうを考えればいいですかということであつじからカタノ頂上のときに、耐火被覆のための検討。
1:18:45	復旧をしている間にいろんな荷重がかかっているとは思いますが、そういったところ、ここにも使っているところですよ。
1:18:58	規制庁コサクですけども、補足すると作業中に余計なっていうか、通常時でわからない最悪荷重がかかるとかですね、というようなことがあるとそれが影響しないかっていうようなことだと思うんですけどいかがですか。

1:19:18	日本原燃田中でございます。基本的には壊れたものは取り外すというところなので通常例も明るい状態となりますし、取付けにあたってえとそれに何かを良しかかって何かをするような
1:19:35	そういう工事の方法はせずにクレーンで物をつり上げてそれを素直に取りつけるというような工事の方法になりますので基本的には特別な負荷がかかるというふうには考えてはございません。以上です。
1:19:50	1兆クラス相当
1:19:53	結局ずり取り外すっていうところも気になっていて結局取り崩してる間は
1:20:00	はい。
1:20:01	来自身単に待機する体制とかあと外部火災に対する体制とかどういう状況になってるんでしょうか。
1:20:10	日本原燃田中でございます。退会アート航空機落下で玉ダメージを受けるものとして系統校區別防護ネットと考えておまして、そちらについては当地震に対する能力等は有してないので、そちらについては影響はないと考えてございます。
1:20:29	持って超過です。その辺ちょっと整理していただけたらと思いますのでよろしくお願い致します。
1:20:37	規制庁コサクですけど念のためですけど、前回も聞いたような気がする。
1:20:41	あるんですが、ネットが損傷してるっていう状況なので、その間はその運転はしないんですね。
1:20:51	2本目のオオハシでございます。その点について運用上の記載もするようにコメントを受けてるのは認識してますので、今回反映間に合ってますけれども、
1:21:00	使用済み燃料の再処理を停止するとかですねそういった運用についても記載することを考えております。
1:21:08	規制庁の古作です。そうそういうことがあったので評価としてはこういう形っていう。そうだと思うんで、そういう前提条件も整理をしていただければと思います。
1:21:20	お子さんよろしくお願い致します。
1:21:22	10日です。ベッセに関しては今のところぐらいでその他何かありますでしょうか。規制庁側から、
1:21:32	になるようでしたら次でっぺん3表4度の考え方の資料に移りたいと思いますからもいろいろ忠実性充実すら、いただいたんですが、一方、
1:21:44	前回ちょっとコメントさせていただきまして、その使用する。

1:21:49	医療に対する今回設計したときに使用するっていうふうに宣言している材料に対する
1:21:56	企業性、そういったところであるところが今回追加されていないという認識ですがまだ整理中ということでよろしかったです。
1:22:10	日本原燃の斎藤でございます。そちらについては、現在整理中でございます。
1:22:18	規制庁プロセスが引き続きよろしく申し上げます。こちらの方がいろいろ大まかなしてきてますし、そういったところが見られるところでその他ペイ規制庁側から何かないでしょうか。
1:22:32	規制庁コサクです。まずですね、この話、ここで整理いただいて、詳しく書くこと自体は異論ないんですけど、この後、エッセンス数を
1:22:46	本文の最初に書いてもらわないと許容温度っていうのが出てくるところに許容温度という前にまずこれを言ってもらわなきゃいけないということ。
1:22:55	なんですけど。
1:22:57	それをまず御認識をしていただきたい。これは私3回も4回向けるので。対応いただきたいんですけど、その上で、それをするとき、整理しなきゃいけないのはこの投資40ページの
1:23:14	したカラー五行名とかに書いてある内容をどういうふうに表現すればいいのかっていう
1:23:21	ことなんですけど。
1:23:25	鋼材の有効港北応力度が3分の2程度まで低下する。
1:23:34	ことを考慮っていうのは一体何なんだっていうことを
1:23:41	共同評価上、或いは耐震評価上どういう意味を持ったのかっていうことに言葉を書いていたかなきゃいけないくて、
1:23:50	何て言えばいいんですかね。
1:23:53	上の段落の話ですかね。
1:24:01	ちょっと補足で説明いただけますか。
1:24:17	少々お待ちください。
1:25:00	原電の蝦名です。
1:25:04	えーとですね今のお話ですが、共同評価上どういう意味を持つかということでは海進までは綱領。
1:25:15	しないけども、自重で建ってる分には十分な強度を持っているというふうな言葉なのかなというふうに考えてございます。以上です。
1:25:32	規制庁コサクです。それは、
1:25:40	なぜ、この

1:25:43	3分の2Fってということになるのかっていうのは、耐震設計なり強度設計のところでは1名な形になるっていうことなんですけど。
1:25:59	日本原燃の原でございます。この3分の2の意味合いでございますけれども、こちらはある意味事業者側の決めのようなものでございます。上野鋼材の温度の図からですね。
1:26:15	今熱や
1:26:18	加わっていくと325°までは国保労力が変わらないと、そこから下がっていくんですが、我々を設計をする時にですね、どんどん変動ねらっていくかと。
1:26:33	今回チョイスしたんですけれども、その時にですね、竜巻加工っていうのはかなり時カビが近いということがありますので、ある程度応力度が下がるところの
1:26:48	Point拾ってこようとしたので、その時にですね、もうある意味エンジニアリングジャッジになってしまうんですけれども、3分の2ぐらいまで下がったところで、持つように設計しようと思った次第でございます。
1:27:03	以上です。
1:27:06	規制庁コサクですけどそうだとすると、そのエンジニアリング出てあっちの妥当性を説明してもらわなきゃいけないと、
1:27:17	少なくとも、先ほどの蝦名さん言われたように、
1:27:24	その間に受ける荷重っていうのが許容応力を超えないということは明確にさせていただかなきゃいけないかなと思うんですよね。それが耐震計算強度計算の中で自明な形に整理されているものであれば、
1:27:42	これの設定の説明の中に入れてもらえばいいんですけど。
1:27:46	どちらを選択されるかはもうそちらの
1:27:49	自由ではあるんですけど、何らか求めていったときに、
1:27:54	行動に一方で
1:27:59	耐火被覆の話である。
1:28:02	国交大臣の認定のときの温度ってことでしょうか。
1:28:14	はい。
1:28:15	日本原燃の蝦名です。洞道国交大臣認定のほうは、基本は号炉だとか、かけて縮みだとかあとひずみというのがどれぐらいかっていう話なんですけどそれを再開しない場合は350度い
1:28:34	以下ですねさの平均350度で最大450°以下というのが起点になっています。以上です。
1:28:44	今の最大っていうのは局所の温度って意味ですか。

1:28:53	日本レビューなどすいませんちょっとそこが我々もまだ完全にちょっと確認できていないところで知ってるまたは我々はそういうふうに認識はしております。以上ですか。規制庁コサクです。必ずしもそれと紐付ける必要ないんですけど。
1:29:10	そその辺り何か
1:29:13	意味合いなり出てくるのかなと思って聞いたんですけど、いずれにしても県において
1:29:23	温度での機械共同で機能として、支持機能として大丈夫だということを説明いただければと思います。
1:29:34	日本原燃蝦名です。
1:29:37	すみません日本原燃の笹森でございます。今まさしくコサクさんがおっしゃられたことはですね我々としてもきちんと説明する責任があると思っております、ちょっと今回の資料に間に合わなかったんですけども、今回この温度が適用されるのはの飛来物防護ネットになりますので、
1:29:54	別紙の3ですかね通しページで言うと、156ページまでちょっと飛んでしまうんですけども、
1:30:04	仮にですね3分の2F層とレートで今度は上昇してしまった場合の強度評価というのですね第4-1表で位置を示すことを今考えてございます。ちょっとそれはこちらのほうがまだあの評価書されてないもので追而となっているんですけども、次回、補足説明資料提出時にはこの辺を埋めてですね。
1:30:22	きちんと強度上成立していることはお示ししようと考えております。以上です。
1:30:30	規制庁コサクです。わかりました。この確認を踏まえながら、これと言っている荷重条件が何でっていうことを踏まえてですね、それに耐えられる、機械強度を確保する。
1:30:45	温度としてなどという言い方につきなるのかなっていう気も今の話だとするんですけど。
1:30:52	そういったものを本文側は最初、
1:30:56	に入れていただきたいということで、
1:31:00	また誤解があるといけないので具体的な場所。
1:31:07	日程をくっと。
1:31:09	②は許容温度をまだ出てこないですかね、ここは昨日の話ですかね。
1:31:20	⑤ですか。
1:31:25	⑤ですね。
1:31:26	⑤の今柱書きで最初にぼんと出てくるんですけど、これは一番最初に大久保が言ったように、設計コンセプトから入っていったということの中
1:31:42	なんですかね、必要な荷重に耐えられる設計というようなこと。

1:31:47	それもう、
1:31:51	に耐力ぎりぎりでもいいのか、余裕を持たせた弾性設計範囲なのかというようなことの実現で入れていただいて、それを実現するための、今回の設計の考えとしては温度に換算して対応しますと、本当に着目してありますよ。
1:32:09	いうところでしっかりと論理を順序立てて書いていただきたいというふうに思っています。
1:32:18	よろしいでしょうか。
1:32:24	はい、日本原燃の蝦名です。ソチました本文のほうにそのように論理が展開されるように記載したいと思います。あと、先ほど、
1:32:34	コサクさんのほうからおっしゃられた硫黄な大臣認定試験の温度つぼの関係というの、基本的には目的とかですねやってることは一緒のはずなので、何らかの相関があると思ってるので。
1:32:50	そこも調べて別の場所にはなるかもしれませんが、記載するようにしたいと思います。以上です。
1:32:58	はい、規制庁の古作ですよろしくお願いしますそれで念のため申し上げますと、今の⑤のところに書くところで共用の二つあるわけで、
1:33:11	冷却塔の方法等を飛来物防護ネットの音というあれか波及影響か。
1:33:17	本体が
1:33:18	いうところで考え方を平均していくとですね、それを二つ合わせて温度自体を違うけど、着眼点としては許容温度ということでここで二つ合わせて書き切れれば、
1:33:34	後ろではそれを使わずに分ける必要なくて一体として許容温度以内かどうかというようなこと
1:33:40	表現に合わせていけるので。そういった点この⑤で区分されると後ろが綺麗になるかなというふうに思ってます。ちょっとそれが随分後ろになっちゃって。
1:33:51	これも現状だと分けなく分けて書かなきゃいけないわけないとか、非常に複雑な状況になって、
1:33:59	ちょっとてるので、そういったことの本体か波及影響かということの仕分けが必要か否かも含め全体よく考えていると思っております。以上です。
1:34:11	日本原燃みたいですねと記載をシンプルにするアイデアをいただきましてありがとうございます。検討されると思います。
1:34:21	規制庁加熱する津波に今のところで共同提出される審査会合資料は前の資料だと何か別にやっばりなりましたが、
1:34:31	どういう感じになってますでしょうか。そこまで
1:34:37	所則

1:34:51	日本原燃の蝦名です。今のところっていうのは暴行の部分ということでいいますと、まず最初ですね、影響コールする施設ということで、
1:35:06	四つの選定してそれぞれにどういう設計するというのを記載しております。
1:35:16	次にですね今度は今のこの丸交番の部分ですね、⑤番の部分を記載しているというふうな方向大まかに言うとそんな感じになっております。前は⑤番の部分だけ、
1:35:32	もうなんかが出してたんですけど、ちょっと御指摘があつてありました通り、その選定ですね施設の選定んよ、要するにやるっていう話をした上でここにつながるような記載になってございます。以上です。
1:35:48	規制庁からですね、その温度の関係、今の許容温度の設定についてっていうのはどういう、その中に取り込まれているっていうような感じですよ。
1:36:06	日本原燃の蝦名です。
1:36:10	そういうイトウを訪問。
1:36:14	までの漏えい等、
1:36:16	機械が
1:36:21	すいません今日応募はやはりこの 05 番に相当する部分で、東京の超える場合にはという形で突然出てきている形になります。ちゃう。ごめんなさいえっと等々の部分で許容温度以下とするというふうなところで突然強度が出てくるような記載になっております。
1:36:41	以上です。村長から、そこも同時に見直ししていただければと思います。よろしくお願いします。
1:36:52	規制庁のほかに何かございますでしょうか。今日のためです。ちょっと一遍聞いてみたいんですけど、今のお話では学校は完璧に見ると多分強度弱まると思うんですけど、35 ページで、それでもこの書き足りない設計とさっきの話だとネット以外の影響ありませんよ、ここはそのままですっていう前提でこの形を書かれたように、
1:37:12	気がしたんですけど、今のお話だと強度弱まった状態或いは地震が来たときに耐え得るものっていうよりはそのままの状態を維持できるだけの設計になっているような気もするんですけど、結果的に言うと別に確率的にはそんなに高いものになるわけじゃないんで、体力に影響がないような気がしているんですけどそこで、
1:37:31	今の記載でしたっけ。
1:37:46	日本原燃皆ですねと、今の 35 ページの辺りの記載はですね、

1:37:54	まずは、火災が 24 分間継続しますと、その間に地震が来るというふうな発想でまた 24 億円だとあれなので 1、一、二日という形にしてですね温度影響もありますんで、約 1 日という形にして 1 日
1:38:11	その発生火災が発生したと 1 日の間に当地震が起こる確率が十分に低いので、いいですよというふうな論調で記載しておりますんで、今の記載の方針としては、ちょっと記載の書き方はあるかもしれませんが、方針としては、今のままべきと思っております。以上です。
1:38:31	規制庁谷です。学校っていうのは、要は、今 450 度まで行ったときにその状態でも地震に対しては同じ強度特性を持ったままっていうことで実績
1:38:42	或いは、強度弱まった状態でそのあとどこ捕集されるかの話になるような気もしているんですけど。
1:38:48	日本原燃の蝦名です。当コードは先ほど、
1:38:53	今の説明の通り、3 分の 2F という形で強度は弱くなりますので耐震
1:39:03	みたい。
1:39:04	しては、洞道は余裕はないと思っておりますんで、あと、そのあとの復旧の話なんですけど、ちょっと私、先ほども言ったんですけども 500 のまでであれば昇温して戻した状態で
1:39:21	前のその加熱前の状態の凍土特性何も変わらない状態まで復旧するというふうな文献をやっぱありますんで、抄によってその柱だとか、
1:39:35	委員とかっていうのが復旧が必須っていうか交換などの、そういった作業が必要になるようなものというふうには考えてございません。以上です。
1:39:46	規制庁コサクですけど、結局はその温度が下がり切るまでの間に変形を塑性変形を及ぼしてしまうような荷重がないかっていうことだと思うんですよ。
1:39:58	その辺りをちゃんと整理をして元に戻ると。
1:40:02	いう。
1:40:05	形を明確にするっていうことだと思いますが、実際問題としては幾ら確率が低いって言っても。うん悪く起きてしまえば
1:40:17	復旧でいろいろと対応していただくことにはなると思うんですけど、設計のコンセプトとしてどこまで考えるかっていうのでまとめていただければ。
1:40:28	はい。日本原燃レビューアです。そうしましたらちょっと記載を見直したいと思います。以上です。
1:40:39	規制庁借入するレトロこちらが別添 3 のほう、もう規制庁側からよろしいでしょうか。
1:40:47	それでしたらねと別添 4 対流熱伝達のほうに普通理解と思っておりますが、こちらはまだ

1:40:56	一方修正作業中ということでしたが、前回ですねまずコードの詳細をちょっと書いてくださいというふうに思いましたんですが、
1:41:08	あんまりサトウ書かれてなくてですね、例えばV&Vの状況とかなってますという内容説明書のような感じで見ていただきたかったんですがという情報はお持ちなんです。
1:41:29	日本原燃の斎藤でございます。申し訳ございません。ちょっとこちらのちょっとスピーカーから下の行間こえにくくなっておりましたので、もう一度ちょっとご発言の方をお願いいたします。
1:41:41	調達方針 45 ページ目の 2 ポツのところにFDSのこの絵を少し追加されたんですけど、これ概要説明書がよく設工認申請書ついてるんですが、今回も
1:41:56	コードを使うという事に当たってる例えば山登りの実施状況とか、そういったところも書いていってもらいたかったんですが、
1:42:05	どうでしょうか。
1:42:07	日本原燃の斎藤でございます。こちらまずへと
1:42:12	概要等を行ったことでまず文章中にこういった記載はさせていただいています。その上で、概要説明書については現在作成検討中でございます。作成中でございます。以上です。それ超過です。よろしく申し上げます。サトウですね。
1:42:29	一掃し 46 ページに替えて燃焼時間そうそう少し前回議論したんですが、イトウを
1:42:37	伝わってなかったのかもしれませんが、第 2-1 表に燃焼時間というのを書くんではなくて、それぞれの結果から、何秒後買ってきてるところを作りたいかというところですので、
1:42:53	その時間的にはもうすでにさせるみたいなことをおっしゃってたので、その時間が
1:43:00	そういう考察をちょっと付け加えてもらいたい。あまり考察が、
1:43:05	あります。そういう
1:43:07	水位の考察がありませんでしたので、そういったところをちょっと見てもらってこの結果は海岸安定したところですよということを明確にしていただけなかったんですが、
1:43:19	そういう、そういう方針大丈夫でした。
1:43:27	日本原燃の斎藤でございます。前回ご出席していただいていたどういったタイミングでのその結果になってるのかということにつきましては通しページの 46 ページの上で、ちょっと寡占化申し訳ございません控えてませんけれども、データの取得、

1:43:43	これは海岸停車状態での開放空間での風況及び温度分布であり、そういったところで表現をさせていただいておりますが、ご指摘の通りですね、家への汚水といいますか、時間的にどう変化するのかといったところの考察あれば、
1:44:00	借りておりませんので、そちらについては結構記載を検討させていただきます。
1:44:06	はい、規制庁ヶ月よろしく申し上げますと46ページ目第2-1表の中でいろいろ以降追加していただいてわかりやすくなったんですが、前回普通を用いた理由ってというのは、
1:44:22	星聞いてました。
1:44:24	結局普通じゃなくても何でもいってということが何か前回の議論の結論だったような気がするんですが、そういうことじゃなかったんです。
1:44:37	日本原燃の斎藤でございます。その通りでございます普通、F16と同じ規模での改変の結果というものをを用いるということですのでその旨がしっかりと伝わるようにですね、備考のほう修正させていただきます。
1:44:55	規制庁かですね、別に116でも何でもいってというような結論だったように、つまり燃焼面積とか、燃料積載量にはよらずとも、その結果はどうやっても同じですよってというような
1:45:11	結論だったような気がするんですが、そういうことでした。そうそう書いていただいたほうがむしろなんかF16年の未類似するとかそういうの価格よりも全然ような気がしますんでその辺また検討いただければと思います。
1:45:29	日本原燃の斎藤でございます。そのように検討いたします。
1:45:34	規制庁加熱後46ページ目、センターとなるさんの同じ特徴持つってところで文献はつけてもらったんですね、結局、場に
1:45:44	もう伺ったのは何が類似性があるから今回の評価で持っていることが妥当だと判断されるのかって言うところでして結局今同じ特徴もって言うふうには書いてあるんですが、何の
1:45:58	物性値の
1:46:00	同じだから今回用いることにしたってということなんでしょうか。
1:46:05	日本原燃の斎藤でございます。こちらちょっと記載が間に合っておりませんでした。こちらの文献におきましては触れる会のシミュレーションを行っております。
1:46:14	で、その中で、この核種燃料の燃性に関するパラメータを整理しております。パラメータの整理の中でナフサと県単に同じ同じ燃焼パラメータの与えてるといったような整理から、

1:46:30	ナフサとペンタゴン同じ特徴もつということを考えております。そういったことがもう少し伝わるように記載は充実化いたします。以上です。規制庁からです。その辺しかかったんでそういう整理で、その辺よろしくをお願いします。
1:46:46	あと最後にもう 49 ページ目の結論のところの影響について記載を検討するということですが、これ具体的にどういうことを考えてらっしゃいますでしょうか。
1:47:14	日本原燃の斎藤でございます。こちらこうした
1:47:21	事象に使うこのFDSの結果のところでは公社債の運用についての記載についてのコメントがついたと思っております、そこについての記載が統一でないんだと思っておりますね、取り急ぎこの運用についての記載は検討中と入れさせていただいております。
1:47:38	はい。お願いいたします。実際にどういうふう整理されましたでしょうか。整理部長教えて。
1:48:00	日本原燃の斎藤でございます失礼いたしましたのこちらは
1:48:05	先ほどの御説明させていただいていたの運転状態に関する
1:48:10	説明というものをここで記載、ここでといいますかこう記載する必要がある。
1:48:17	ではないかと考えております。取り急ぎこちらに検討中と書かせておりましたがどこに記載することが適切なのかどうかは検討して資料中に記載させていただきます。
1:48:34	規制庁の川です。別にここでもどこでもちゃんとわかるように整理していただければと思います。
1:48:43	そうすると今の運用により運転状態のことを記載させようとしていたという認識でよろしいですね。
1:48:53	日本原燃蝦名です。すいませんちょっとなかなか言葉足らずで申し訳ないんですが先ほど
1:48:59	議論のあった飛行機が落ちたときに、工場の運転上どうするとかって話なので、って言うので、ちょっとここに書くべき話ではないと思いますんで、ここではあくまで
1:49:16	当考察のした結果の結論を記載するにしつつさせていただいてここで言うその運用テーマ構造の運転状態どうするかというのは別なところに記載させていただきたいと思っております。以上です。
1:49:30	規制庁ヶ月乾燥例で結構かと思っております。運用っていうのはどこまでの範囲なのかっていうのがちょっと気になったんですが、運転状態でしたかの議論もありました。よろしくをお願いします。
1:49:43	この別途やると 4 校私からは以上なんですが、規制庁がどなたかありますでしょうか。

1:50:03	続いてちょっとわからないようでしたら次に別添 2 項の支持構造物の評価離隔距離表の作成のほうに移りたいと思います。
1:50:12	こちらいろいろコメントしたのに対して現在もまだ検討中という認識でしたか、例えば講師 52 ページ目で、
1:50:26	現場を代表にするっていうところで 10 日間と火炎官房包絡されているという保守的に評価することができるというような結びにはなってるんですが、
1:50:38	この辺をもう少し具体的に書いてもらいたいとか、お伝えしてましたが、そういったところは今迷っているということでしょう。
1:50:47	日本原燃の斎藤でございます。
1:50:49	こちらの別添 5 の表紙で修正作業中という言葉がちょっと抜けておりました。おっしゃる通りですね、そちらの蓄光以外の部材についても同様に示せるということを図によって示そうと考えております。以上です。
1:51:06	それ超過ですよろしくお願ひしますとですね、ちょっと気になったのが最後のほうへ等以降 19 ページ目に計算の妥当性についてということは随時に今なってるんですが、これは何を
1:51:21	示そうとされているんでしょうか。
1:51:26	日本原燃の斎藤でございます。
1:51:30	こちらの 6 月計算の妥当性につきましては、
1:51:34	この計算パラメーターのうち時間刻みの変更によって、時間刻みというものが残った後なのかどうかというのを、ここで示そうと考えております。
1:51:46	規制庁かねそれだと計算の妥当性っていうのはなかなか広い言葉なのでまたちょっと表現を見直してもらいたいというのがあるんですが実際のところの 0.01 秒で問題ないということが確認されてるんですよ。
1:52:04	日本原燃の斎藤でございます。こちらあのこう解析の中で、
1:52:09	もちろんそういった妥当性については確認しております。
1:52:14	はい、すべての非常に良いなコメントだ。
1:52:18	とは思いますが、結果が出てこなかったの少し心配してはいたしましたがまた
1:52:24	来たりしていただければと思いますのでよろしくお願ひします。あとこの資料は他で今計算分析のエビデンスとかはちょっとまだ掲載されている部分もありますので、やはり中ということよろしいですか。
1:52:46	日本原燃の斎藤でございます。物性値のエビデンスにつきましても、
1:52:54	現在整理中でございます。
1:52:56	記載については検討中です。以上です。
1:53:00	規制庁僕は別の引き続きのよろしくお願ひします。

1:53:04	こちらの資料に關しまして、もう私からは以上なんですが、規制庁側から何かありますでしょうか。
1:53:14	規制庁コサクです。
1:53:18	別添5がどこまでの話なのかっていうのが今一井委員。
1:53:24	日光わからないところではあるんですけど。
1:53:27	ちょっとここで言うのがいいのかどうかわからないんですが、
1:53:32	最終的に設工認でどう扱っていくかっていうのが、
1:53:38	まだいまいち釈然としていなくて、
1:53:45	現調言われているのは、材料を、
1:53:49	明確にし厚さを
1:53:52	3mmということで明確にするということなんですけど。
1:53:58	そこに
1:54:02	それだけで表現し切れないのかっていうところがちょっとよくわからなくて、
1:54:11	結局その離隔距離っていうのを設定してって言うてる離隔距離を宣言しないでいいのかですとか、
1:54:20	結局これで
1:54:22	許容温度を
1:54:24	内におさまるというために必要な条件っていうのがあまりまだ特定されてないような気がするんですね、実務としてはできてんですけど、それを設工認として何を宣言することでそれが全体抑えられるのかと。
1:54:40	いうことがはっきりしてないような気がしていてそのあたりどう考えなのかを聞かせいただけますか。
1:54:50	日本原燃の蝦名です。先ほどおっしゃったように実務としてAのところが必要だと思っているのはまず離隔距離になりますんで、離隔距離
1:55:05	を確保すればまずそれは温度、許容温度以下になるということが言えますのでそこ。
1:55:12	残るはジャッキ離隔距離の中のものということでそちらについては、大臣認定でされてるような信頼性のある材料を使って
1:55:26	総厚を設定して、それを施工してあげるということで、表面温度以下にするというそれらが許容温度にするために必要な項目というふうを考えてますんでちょっと設工認への展開というのは、
1:55:44	そういったものが記載されるのかなというふうには考えておりますがまだちょっと今検討している最中でございます。以上です。
1:55:53	規制庁コサクです。ちょっとあの気が早くて申し訳ないんですけど、そういった完成形を意識して話をしないとどこで何を説明してもらわなきゃいけないかっ

	ていうのもうはっきりしなくなるので、そろそろ実情がわかってきたのでそろそろそういうせずかなと思ってお話しました。
1:56:15	それが一番最初の⑤のところになるんですけど、離隔距離以内に来そうすればいいんだということ言うんですね。
1:56:28	資金のものは、塗りますという設計コンセプトが外れていっちゃうので。
1:56:37	離隔距離というよりは、塗装範囲として設計確認値を書くんじゃないかなという気がしてですね。そうすると金利によるところの距離はもう宣言しちゃうと、
1:56:50	いうことになってその設定確認設計確認値の適切性の説明の時に離隔距離が出てくると。
1:56:58	離隔距離よりも十分長い。
1:57:01	班員を設計確認値にしてますよっていうことと言えば資金を塗るということ設計コンセプトがバッティングしないと。
1:57:12	いうことになるんじゃないのかなというふうにちょっと今思っています。
1:57:17	そうすると施工範囲の
1:57:24	外面からの距離ってということですかねというところを結局は離隔距離との関係にもなるので板厚ごとに設定すると。
1:57:34	いうことになって、この別添のアウトプットである離隔距離共通か、
1:57:43	が本文事項として、寸法のところに書くのか材用のところに注記で飛ばすのか、寸法なんですかね。もう
1:57:54	今あれでしたっけ。引間。
1:57:57	その厚さを寸法になってるんですっけ。
1:58:01	ですよ。だからそれに施工範囲というところを、
1:58:06	そこで鍵くのかなあと材料でもだのそこは工夫してもらえばいいと思うんですけど、カッコとでっばいった論法がとれるようになるんじゃないかというふうに今思っているところです。今これまでの原燃の説明を踏まえると、
1:58:23	設工認の運用としてはそういう感じかなと。
1:58:26	持っているわけなので、そちらの設計コンセプトを整理いただいたところでそれに合うの記載の仕方っていうのを考えてもらえばいいんですけど、ひとつそういうふうに思ってますということをお伝えしておきます。
1:58:39	で、そのときに、追加でお金も条件が必要かどうかというのがあって、公社の条件っていうのは基本設計方針で述べられると。
1:58:52	こと。
1:58:56	材料の
1:58:59	当店熱電対法律だったりというところの特性というのを確実に
1:59:09	塗装厚さで、

1:59:12	問題ないといえる性能持つてるかっていう担保をどういふふうに来るのかといったときに、このあと話があるかもしれませんが、認定との関係ということで、
1:59:24	いうところを整理をしていくというものでも、もう一つ何か書く必要があるかどうかという議論があって、そのときに、ここの説明に入っている計算のパラメータっていうのは何があって、それを
1:59:40	何で宣言できるかということになるので、ここの説明を非常に大事だと思っ ていてですね。
1:59:48	その点も含めて整理をいただければと思っ てますけど。
1:59:52	それはどれぐらいまでにできますかね。
2:00:06	日本原燃の蝦名です。はい。いろいろと均等ありがとうございます。
2:00:14	いつまでにというところですがちょっとまずは最後のほう経営優先しつつす ね作業していきたいと思っ てますんで、ちょっとさ、会合の後にはなってしまう、 過去、
2:00:29	思っ ているところ です。以上 です。
2:00:32	規制庁コサクですけど、なんで今私が申し上げたかという と、会合で着地点が 見えてくるという方向がないと、あの会合で宿題事項になっちゃうんですよ。
2:00:45	それをしたくないので、こ ういふふうに進めばこ う着地していきますねそれは いつぐらいです ねってわかるようにしたい なと思っ て今お聞きしたんです けど、今 すぐには答えられな そうなので、火曜日 もまたヒアリング ですから、
2:01:02	その際に、見通しなり何なりを聞かせ いただけるように検討 いたします。
2:01:07	はい、日本原燃例みたい ですかと私がまず ちょっと見誤っ てしまいました火曜 日。
2:01:14	ぐらいに回答できるよ うにしたいと思 います。以上 です。
2:01:21	そこでそのお子さん進 めてください。
2:01:24	社長から規制庁の田尻 ですが、今までちよ うど 2 時間経過した ところで、次別添 6 から対価等々の話の 具体で入ってくるよ うな形になると思 うんですが、残りど れぐらいかかるか によって継続する か休憩を挟むかを 決めたいと思 うんですが、1 時 間以上かかるよ うであれば休憩を 挟んでしまうこと も思 うんですが、規 制庁側見込みあり ますでしょうか。
2:01:46	はい、規制庁から です。はい。1 時 間以上かかると 思 いますので Q 定例 お願 い し ま す。
2:01:53	規制庁田尻 ですそれではここ で一度休憩挟み たいと思 います。今 35 本 近いので一応再 開を 45 分と したいと思 うんですが、規 制庁が原燃は大 丈夫でしょ うか。
2:02:06	はい、日本原燃、 蝦名です。大 丈夫 です。

2:02:09	はいそれでは再開 45 分にしたいと思います。よろしくお願いします。
---------	------------------------------------

0:00:01	規制庁の田尻列それではヒアリング再開したいと思います。次は外部火災の別添 6 からだと思いますので規制庁側から指摘等よろしくお願いします。
0:00:12	規制庁岡です。別添 6 耐火塗料の水素燃焼ということで、こちらはまだいろいろ見直し中という認識でして、前回コメント落ちたものしか取り上げを使うメリットとかですとねだと。
0:00:28	写真とか絞るとかそういうその一般産業品であるってというようなこととか、
0:00:34	はまだ作業中という認識です。いかがでしょう。
0:00:43	日本原燃の斎藤でございます。こちら別添 6 につきましても、資料のほうに修正作業中とちょっとってはおりませんが、写真等については記載することを検討しております長です。
0:00:58	すべてお金すべ今回ストーリーとか取材とか中のリワークの機能は書いていただいたんですからこれ欄は、そうすればもう同定してもらおう。
0:01:10	合併で
0:01:12	市設工認以上というふうになっていくかみたいな話があつて、前回あつたんですが、その辺の対応も今後ということとでちょっと
0:01:29	斎藤でございます。こちらの取材のみならずさんの例なんかの理由は塗りのこれらの等量についての組成につきましても組成を記載できるように、現在検討中でございます。以上です。
0:01:46	はい、規制庁電話等々大臣に意見関係がいろいろ書いてますので、それは後のほうの資料でネットを議論するということで、その議論の結果をこちらにも、具体的にはどういう人員という試験がカバーされているのかについて
0:02:04	しっかり論じていただくことが必要で、
0:02:07	そういう部分は今後もその第 2 ページ県との比較とかの議論を踏まえてまた見直していただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:02:16	本資料に関しましては、私からは以上なんですけど、ほかに何か気になっていること等ございますでしょうか。
0:02:35	特にちょっと超過です特にないようでしたらこちら別添 6 のほうも見直しを継続していただいて 0.7 のほうに移ります。はいか被覆管厚さの設定の考え方ですから、
0:02:51	こちら、今回追加していただいたところとかなり記載は充実されていろいろできたところもございます。77 ページ目について、まず、ずっと言っていた。
0:03:07	すいません通して 80。
0:03:12	11 月の

0:03:15	1 時間後の写真を掲載してもらっていて、
0:03:21	実験降らせる 400 秒だと思いますが、この 1 時間のってというのは具体的にどう いうスペック多数のものなんでしょうかずっと燃焼し続けたあの輻射熱し続けて たっていることでしょうか。
0:03:37	日本原燃の斎藤でございます。こちらおっしゃる通りでして、ずっとですねあの 1400 秒を超えて燃性を 1 時間まで継続して、あの試験自体は行っております。 その結果でございます。
0:03:52	市長がですねちょっとわかるように記載してもらいたいのとあとその間ずっと時間
0:03:59	温度のプロファイルはとってたってことですよ。
0:04:10	はい、日本原燃の斎藤でございます。1 時間での温度プロファイルは不足して おります。以上です。
0:04:18	日通超過ですそれでちょっと気になったんですがその結果、ペイ結局ずっと普通、 今 1400 秒までしか入ってない 82 ページの図を我々があまり温度が上が らない、ずっと継続するっていう感じ。
0:04:34	何でしょうか。その試験ケースだと。
0:04:41	日本原燃の斎藤でございます。こちら 1400 秒後の温度につきましても、基本 的には急激な温度上昇等はこれは図に一定といいますか、その少しずつ温度 が上昇するといったような
0:04:55	はい。1 時間後まで上昇が続くと緩やかな上昇が続くといったような結果になっ ております。
0:05:02	以上です。
0:05:04	それで超過で承知しましたと 1400 秒まで担保すればいいということではありま すので、実験パレットえさ無効だと非常に高く、やっぱ実にと温度を超えて きてしまうと思いますけれども、
0:05:21	ちょっとその辺が気になってたんですが、もうやはりずっとを
0:05:27	来月性能キープするっていうところなんでその承知しました。
0:05:34	今回考察
0:05:37	いただいたものを追加していただいたところ、
0:05:41	で、78 ページ目を作らな大分充実したところですが、
0:05:54	計算と再っていうのは、今整理となっておりますが、78 ページ目の北の(エ)とかネ ットBの辺りのことを今後応札でここに置こうで
0:06:09	通されようとしているんでしょうか。
0:06:16	日本原燃の斎藤でございます。
0:06:19	超えれ試験。

0:06:22	構造材温度についての乖離についての考察となっておりますかっこのいい場の1400秒後までの温度上昇についての計算との乖離を
0:06:31	説明しております。それは(2)のところで、
0:06:36	考察としてですね失礼しましたの(エ)と括弧Bでは御説明といいますか、行っております(2)で具体的な考察を考えております。以上です。
0:06:46	すれ超過ちょっと等で具体的にまず今回の物理的な
0:06:53	炉ファイルをちょっと簡単に説明いただけますでしょうか。越しつつ、
0:07:02	日本原燃の斎藤でございます。こちらの物理的な共同につきましては、通しページ78ページで整理をしている通りなのですが、簡単にご紹介いたしますと、まず前提としてですね、①のところで、
0:07:19	こちら残し懸念等に掲げております。申し上げようとなっている交番と鋼材間に車検膜があるといったような状態で、まず、
0:07:30	身体を抱えてるといったようなことがあります。その上でですね、②ですが、
0:07:38	②で、保護者減の交番からcupお返し前の耐火被覆表面までは輻射であると。
0:07:45	それ以降ですね。
0:07:48	発行開始までの耐火被覆後鋼材、
0:07:53	鋼材、あと構造材の裏からの放熱等といったような歯の伝熱の減少があるといったことも2では記載しております。そういったことが残っていると。
0:08:06	起こっていて、温度上昇が続いて、③に繋がります。③において耐火被覆の温度が200°前後となった時点で、
0:08:18	耐火被覆表面や内部において、
0:08:23	プリニーさんも任務等が熱分解して単価差を形成単価差の形成を開始するといったようなことが生じます。そして④におきましては、その③、
0:08:36	形成される炭化層、
0:08:40	等とともにですね受振の溶融と同時に、
0:08:43	発泡剤が分解起こすと。
0:08:46	そうしますと、ガスを発生させて炭化層としての産ん防潮もあるとその結果、初期のそのにより3mmの我々のアンプ厚さを超えて断熱層というものが成長するといったようなことが起こります。
0:09:05	⑤におきましてはそういったその成長した耐火被覆の内部においても当然断熱層ではあるものの、断熱層に応じた耐火被覆内部における顕熱というものがあると。
0:09:20	その電熱
0:09:23	N II が起こって、

0:09:26	若干中っていうか、口座にも温度が伝わっていくといったようなことが合併でさらに混在の裏面からの放熱等もあるといったようなことが⑥番までの整理されております。⑦におきましては、
0:09:44	こちらは継続時間について着目して書かせていただいているんですが、複写の発生から 1400 秒ここまで
0:09:53	輻射輻射ですね福祉の 1400 秒後までの継続すると、③となるような発泡現象が発泡剤分解開始。
0:10:03	から終了までですね、これは継続するといって、初期耐火被覆厚さの数十倍にもなる断層形成するとともに、⑤⑥の熱伝導で伝熱ですね、あの伝熱も継続するといったようなこととして、
0:10:19	現象を整理しておりますの概要については以上となります。
0:10:25	はい、規制庁隠すありがとうございましたと実験関係で幾つかまず等その 76 ページ目に 1 件設備が書いてあってこれ別途斜熱盤が、その熱膜が今、前まで前にとか直前、
0:10:42	試験体の具合に書いてあったんですけど、これ実際に何mmぐらいの話なんでしょう通報がそこにはないんです。
0:10:58	の斎藤でございます。申し訳ございません。ちょっとあの、趣旨を確認させていただきたいのですかね、7ミリというのは、遮へい膜の厚さということでしょうか。うんから放熱
0:11:09	はい。
0:11:10	放熱たいから試験までの通りで、大体、何mmぐらいになっちゃうと下の 500 のところなんですか。
0:11:25	500mmが放熱会から試験体までの距離で考えたらよろしいですか。
0:11:31	日本原燃の斎藤でございます。
0:11:35	その通りでございます。第 5-1 図に 500mm。
0:11:39	といった試験体と
0:11:42	加熱炉の鉄板からの距離としての設定させております。以上です。はい、決得です。
0:11:52	実際試験体の複写熱量は、通す 30 です 29。
0:12:00	業務は、キロワットパー平方メートルになるように、
0:12:06	設定したっていうのはどういうふうにご設定したんでしょうか。
0:12:12	日本原燃の斎藤でございます。こちらの設定につきましては、その航空機墜落火災んで、想定します条件と同様としております。つまり輻射発散度 58 へと 58kW、

0:12:27	に対しての形態係数 0 点を乗じた上で対応港北による輻射も考慮して設定した複写でございますでしょうか。それはわかっている、ちょっと具体的に試験体まで、
0:12:42	お願いやりとりがあって、それをどうやって制御しましたかっていうこと伺っています。
0:12:49	三菱重工の松本です。
0:12:54	項番の工場の裏側からまずバーナーであぶっかぶって工場飲んで挙げてます。その状態で試験体の真横に制限をの放射計を行けます。
0:13:07	これは 76 ページの図のところに示しているんですけども、
0:13:14	生業放射計で所定の 29.4 キロワットか平米の熱強度が確保されているということを確認しながら、試験を行っています。以上です。
0:13:30	規制庁、川です。当社Uターン遮へいマークを都度下ろしていた状態から上げた状態で 29.4 を与える必要があった実験だと思うんですが、それはどうやって制御しましたかっていうことを聞いているんですけど。
0:13:49	三菱重工松本です。
0:13:52	以前の試験で項番の温度を大体 700℃。
0:13:59	お願いすれば、
0:14:01	都市圏太陽光の放射鉄塔放射経過で計測できる前強度が 29.4 ぐらいになるってことは確認できてますんで、そういう確認をした上で、所定の
0:14:16	項番の温度が島所定の温度をもうマックスこういったところぐらいで遮へい高高あげて、試験を開始しています。
0:14:27	以上です。
0:14:28	はい、規制庁化ですとかありましたので、その監視時点ですで見解がたまってたっていう事 100 度ぐらいになってるかっていうことでしたが、その小計うまくをおろした状態で、
0:14:43	あげた人トイレ調整とかしてるときも知見をしてたんでしょ試験を行ったんです。
0:14:58	三菱重工松本です。すいません、ちょっとご質問意図がわからなかったのもう一度お願いしてよろしいですか。成長プレスの 80 ページ目の結果が妥当全部試験が 100 度ぐらい上がってしまっていて、それでそれも真っ暗計算等。
0:15:19	実際の実験の差ということで、
0:15:22	これ何らかのこなってもらいもちよっと疲れる説明あったんですが、これ何で温まったんでしょうかっていう質問なんです。
0:15:33	三菱重工松本です。

0:15:35	遮へい幕はgrassファイバー製のもので一応まあ遮へいはしてるんですけども、100%を断熱ちょっとできないんで、その分の熱があらかじめちょっと試験体に伝わった状態になりますんで。
0:15:52	100°からのスタートになってます。
0:15:54	ただ試験としては、キズ現象としてはゼロからスタートするところを試験の100100°からスタートしてますんで、それから試験だと考えてます。以上です。
0:16:09	規制庁の川です。それは理解はしているんですが、例えばじゃ計算で100クドウ入力して
0:16:19	計算すると、実際のところござい温度って、許容温度を超えるん。
0:16:25	ですか。
0:16:33	日本原燃の斎藤でございます。
0:16:37	この計算上の話で言いますと、
0:16:41	もちろんその初期温度50度泊なりますと、
0:16:47	物性値の温度依存性はあるものの、概ね結果1410-5の結果については50度プラスだと考えていいと思います。そういう意味では共用温度を超えます。以上です。成長過程ですという結構大事なところ。
0:17:04	ウェイ3本にしようとした実験へとそういうふうになっているのでちょっと計算と実験の比較っていうその物理モデルの比較っていうのをお願いしていて、裏面輻射とかいろいろあると思うんですが、
0:17:20	もうちょっと
0:17:23	今の時方だと、その計算条件を模擬するように実験を行ったみたいにあまりなくなってなくなっているんで、
0:17:32	Hーイと言っちゃいんですけど、ちょっとその辺はやっぱその気になっていてですね、今後、例えばらやっぱ新しい等を設計、第2回申請以降で、
0:17:48	また、今回の知見やったものよりも薄いものとか出てきたら、こういう試験をやるわけですよ。
0:18:01	日本原燃の斎藤でございます。この新しい製品が出てきましてそれを使おうといった判断があったときには、もちろん従来から行っております耐火試験をもう一度行うということを考えております。以上です。超過で済む新しい製品。
0:18:18	じゃなくてですね、月お前。
0:18:21	じゃないかの設置設工認で
0:18:24	第2回申請以降で、今回第1回申請で冷却塔のパーツで9mm以下のものがあるって、5-5図とか、80ページの最後の御とかの
0:18:35	実験をされたと思うんですが、第2回以降でもこういう部材があったら、また知見やるわけですよ。

0:18:47	日本原燃の斎藤でございます。我々が行ってきたの耐火試験というものは第1回の申請設備である4Bだけではなくてですね、その耐火被覆を施工する対象の設備を網羅的に考えて、
0:19:03	その試験をしておりますのではまた新たに試験をするということは現状考えておりません。以上です。
0:19:11	成長化ですと、だから全部知見会社クドウから始まっているんですね。
0:19:18	つまり同時にすべて最初にも住んでいるということでしょう。
0:19:33	日本原燃の斎藤でございます。
0:19:36	試験開始温度につきましては、時、
0:19:39	イトウしてはいないものの、その試験の現場の状況というものが同じような
0:19:47	農協法再現できておりましたので、
0:19:50	どの試験のケースにつきましても、海進の温度100度程度となっております。以上です。規制庁から中央値ました。やっぱじゃあ今度はあれですね、1回かシフトが新しい製品とかがあったりしてちょっと確認しなきゃいけないとかそういう必要に応じてという。
0:20:10	暫時ということで理解しました。
0:20:14	あと、その計算との解析結果との乖離っていう考察部分って今どのぐらい何か得られておりますでしょうか。
0:20:33	日本原燃の斎藤でございます。
0:20:36	そちらにつきましては、
0:20:40	通しページの73ページ。
0:20:43	の図でのご指摘だったと思うのですが、
0:20:51	続いて、
0:21:00	検討の進捗につきましては狭さの第3-2図で言いますと、現在ですね、調剤温度の結果に着目して、210度になったあの時点で、
0:21:17	断熱ボードの加熱物性値を変更するといったようなモデルで行っているところ。
0:21:24	そうではなくて、断熱材の熱物性値に着目して、
0:21:30	熱物性値を変えるようなモデルというものを検討しております。そういった検討の結果というものが、
0:21:38	通しページの79ページの(2)の試験結果と解析結果の乖離についての考察で書かれるのかなという、現在イメージを持っております。現在検討中でございます。以上です。
0:21:52	規制庁返すとそういう結果はすごく味覚あったので助かります。ありがとうございます。
0:21:58	大きくこの資料を私からは、

0:22:03	以上なんですが、ほか規制庁側から確認したいことございますでしょうか。
0:22:12	町コサクです。ちょっとすみません常に話をしていることなのかもしれないんですけど、ちょっと頭に入らなかったのを確認させていただきたいんですが、
0:22:25	試験。
0:22:27	やったときの温度プロット
0:22:31	これは1時間まであまり温度がわからなかったということである一方、81ページのように、クドウ米になっているということなんですけど、これと
0:22:48	大臣認定の試験との関係っていうのはどうなってるんですか。
0:22:57	日本原燃の蝦名です。どちらもまだ検討中。
0:23:02	それから作成は必要だと思っていて、まだ完全に書いて結果は出せていないのですが、
0:23:09	現状ですね入熱量で比較した場合に、大臣認定とこの試験系のですね、入熱量というのは、大差ないようなものになっていてですね、時間、
0:23:26	いやあの1時間耐火のほうが長いので、結果として入熱量トータルの入熱量が多くなっていると来考察っていうかどれに近いかというと、30分対価の大臣認定に近いので、
0:23:44	保守的に1時間耐火以上の大臣認定を取得している取るようであれば、修文相補性とか、航空機墜落火災対策に必要な断熱性の持ってるっていうふうな整理にしてですね、今等を出し、
0:24:02	下、当会合資料のほうにはそういった内容を記載させていただいております。途中ですが、そういうふうなことを記載させていただいております。以上です。規制庁コサクです。ちょっと皆さん先走り過ぎてて、
0:24:19	設計の妥当性というところはちょっと置いておいて、まずこの試験結果の解釈をさせてくれということで、大臣認定を来すいませんこの試験でやっているとマックは、
0:24:34	大臣認定の1時間の認定を受けているものではないんですか。
0:24:42	日本原燃の蝦名です。取ったと食うの細かくは大臣認定を取っているものと同じ性状のものです。以上です。
0:24:53	規制庁コサクですけど、大臣認定の試験をしたときにも81ページのような状態になるってことでいいんですか。
0:25:06	何か温度が全然違いますけど。
0:25:10	日本原燃の斎藤でございます。こちらは大臣認定試験につきましては、試験の結果の様子。
0:25:19	読みますと、試験体全体はこう白く背弧まで至ってるといったような状況が確認できます。一方で、我々部門の試験においてはこれ黒くこう見た目が非常に

	よくないのですが、来クラスの黒いというのは、詰様ではいかがで進んでいないと、土地の状況だと。
0:25:38	ということだと理解しております。以上です。ちょっと補足です。
0:25:43	すみません、まずはそこはそう整理をしていただいでですね、
0:25:53	その違いは何でかっていうのは次にあって、取っかかりですので見た目は悪いですけど 82 ページのやつはまだ上塗りいいとか何か塗りとかもあるもので、表面で語ってはいけないんだと思いますけど。
0:26:10	断熱層として十分機能している状態でこの先表面が配下しても、
0:26:17	大臣認定試験の結果を見てもわかる通り断熱性能を発揮していると。
0:26:22	ということ等なんですよ。
0:26:27	日本原燃の齋藤でございます。そのように考えております規制庁コサクです。それをまずわかりましたと言った上で温度が全然大臣認定試験の温度とこちらの温度が違うのはなんでかっていうのを説明いただけますか。
0:26:49	先ほど日本原燃皆様の入熱条件をあまり変わらないって言われてましたけど、
0:26:57	日本原燃の齋藤でございます。今度の結果が異なることに関しましては、境界条件の違いなのではないかと考えております。それはその試験に行きましては、
0:27:11	試験におきましては表面等含めてですね、大きな高熱の条件となっているという一方で解析におきましては、大臣認定試験につきましては、こちらの雰囲気温度、
0:27:25	管理しておりまして、あまり今月というものが 5 見込めないような条件となっております。その違いが現れているのではないかと考えております。以上です。
0:27:34	日本原燃蝦名です。ちょっと補足しますと、先ほどの瓶等、これは 76 ページですね、の試験状況の写真を見ていただくと、わかるんですが、炉の外に試験を我々は置いているまあ実際どう多分
0:27:56	航空機火災が起こったときの状況というのはそういう想定なんですけど、大臣認定はですね国内での火災というのも想定してますんで、その中にですね梁であったり、柱っていうのを入れた状態であるとするので。
0:28:14	等による値というかですね放熱の場がないということでその差かなというふうに考察しているというところでスピードです。
0:28:22	規制庁姑息です。沢地すごいよくわかりました。それはわかった上で、
0:28:34	結果としては先ほどの話になるんですけど、何を持って、
0:28:39	設工認本文として扱うことにし、
0:28:44	消火、それによって

0:28:48	なんて言うんすかね検討漏れのない宣言になるかということなんですけど、その中で
0:28:58	放熱実際の試験状態としては放熱が大分聞いているということが今の説明だったと思うんですけど、一方でや放熱を見込まない解析をしてどうこうという話もあって、それ。
0:29:13	この保守的だと、ばくつと言われるんですけど、何がどうこう指摘なのかよくわからなくてですね、その辺りを説明いただけますか。
0:29:33	日本原燃の齋藤でございます。
0:29:37	今おっしゃっていただいていたのか、計算、計算というものは、大臣認定試験の熱部設置取得のための計算ということではないです。まずよろしいでしょうか。あ、ごめんなさい、規制庁コサクですけど、まさにそうそういうこととか、そういうことも含めなんで。
0:29:57	けど、どこの計算で何をやるのかっていうその目的に応じて保守性というのが変わってきて、
0:30:05	大臣認定試験、
0:30:08	いえ、フィッティングするときの計算という意味では、今説明あったように放熱っていうのがそもそもないような状態、あまりない条件でのものだから、それはそれで何でしょうけど、今回のか。
0:30:23	本人の試験では放熱との関係をどう考えるかっていうのがあって、かつ、厚さを設定するといったときの計算はじゃあどうなんだということがあって、どの断面の何の話をするかによって大分違うと思うんですよ。
0:30:43	それぞれどう扱っているのかと。
0:30:46	いうことの中で最終的に宣言するものっていうのが保守性を持つてっていう説明をしていただきたいんですけど、ちょっとすいません。
0:30:57	つまみ食い引用しながら見ているので、全体の構成も含めてちょっとそこら辺説明いただければと思うんですが、
0:31:07	日本原燃の齋藤でございます。まず時事実とかやっていることこう並べさせていただきますと、大臣認定試験を使ってですね熱物性値ですね、を取得した計算におきましては、
0:31:25	おっしゃる通りですね、実際のその耐火試験の熱的、
0:31:30	境界条件を再現するといった意味で断熱で化の評価を行っているということでそこに保守性があるのかというと、それはそれはないといったようなことだと考えております。
0:31:41	今度大臣認定試験ではなくて、我々がその 2mm3 名の塗膜の被覆厚さを決めた解析におきましては、治安につきましても、

0:31:56	許容温度に対して、
0:32:00	保守的にといいますかその評価の結果が厳しくなるように熱的境界条件を設定すると、そうしたことで御説明説明させて確保できるんじゃないかと考えて来月条件ですね、で行うことによって、熱がよりこもってですね、温度上昇が
0:32:17	起きやすいようなところを考えると計算はしております。一方で耐火試験、試験ですね試験におきましては、鎖線耐火試験といいますかね、我々が行ったあの試験におきましては、こちらその実際のその
0:32:33	実際のものを使った試験になりますので、どうしても町熱の影響というものが出来てしまっていて、その結果はもちろん温度の結果にも反映されているといったようなことになっております。
0:32:49	日本原燃みたいですね。ちょっと補足しますが、今お話しに三つのステップに分かれていて多くですね、まず一つは大臣認定試験の結果を使って物性値で潰す設置熱伝導率だったり亀裂であったりそういうものを取得するというプロセス。
0:33:08	次に
0:33:10	計算で必要な許容温度戦にできるような厚さというのを計算で求めるとその時には放熱を考えない。断熱の計算にしているのだからかなり保守的な計算になっていると、実現象と比較してですね。
0:33:29	それで設定した厚さで今度は実条件に近いような法律もあるような試験をすることによって、十分妥当だということを確認するというこの三つのセットになっているかと思えます。
0:33:45	当然大臣認定試験の結果を使うことによって規格化された試験方法の中で実施するデータを使っているということも重要になりますんで、その大臣認定を取得してるところが一つの
0:34:04	前提条件になるのかなと思っております。その時にちょっと我々も悩みというかあるのが、そう製品。
0:34:14	製品とか塗料に対して大臣認定番号が与えられるわけではなくて、その構造に対しての認定構造等後、時間ですねその組み合わせでの認定になるので、ちょっと本文に書くときには、設工認のですね。
0:34:33	等とどういふふうに記載するかというのはちょっとそこは今悩んでいるところになっています。以上です。
0:34:41	規制庁コサクです。ありがとうございます。
0:34:45	大分悩みが
0:34:48	理解できたというか、正しく面をいただいてるっていうか、よくわかりました。
0:34:57	結局は

0:35:00	英語の試験のところは従来の塗装の考え方表面だけにして裏面は乗らないということ踏まえて、実態ではどうなんだろうということはある程度みてみたという試験でしか結果なくて、
0:35:18	今回裏目も含めて載りますといったときに、そういう状況でどうなるかということ具体的には試験をし、
0:35:30	実証試験として試験をC層試験に合格したものを使うというようなものではないということなので、認定試験との関係で整理をしていかなきゃいけないと。
0:35:45	追加なきゃいけないとかしていく方向で、改めて試験をし直してやっていくということでは、
0:35:55	大方針だということですよねまず。
0:36:00	日本原燃の斎藤でございます。その通りでございます。
0:36:05	規制庁コサクです。わかりました二つ
0:36:10	選択肢はあって、認定試験で整理をすれば、説明がし切れるという説明の仕方を考えそれに対する本文事項考えるということと、もう一つは、
0:36:26	試験で対応するというもので
0:36:30	いた塗装厚さのとか板厚だとかっていう条件を踏まえて、一通りそれを包含できるような試験をやって試験で性能を確認した材料を持ちますという言い方をすると。
0:36:48	いう大きく言うとその2種類があると思ったんですけど、そのうちの全社をまずは選択するという判断だということなので、そう。それで、じゃあ層状そういう考えのもとでは何を
0:37:04	すべきかということは今後話をしていければと思いますんで、その際に、先ほど皆さんが
0:37:13	いい表現でお話いただいたんですけど、大臣認定が材料だったり厚さだったりという、
0:37:23	この話ではなくて、構造で認定されているというふうに言われたかと思う。
0:37:31	ですけども、構造っていうのはこのどういうところまでを具体的にそのセットとしてやられているものなのかっていうのを説明いただけますか。
0:37:45	はい。
0:37:46	日本原燃の蝦名です。構造といいますのは、建築基準法のほうで等が定められているその板であったその大臣認定の試験自体もそうなんですけども、板と梁で、その許容値が違ったりするんですが、
0:38:06	を行っていたじゃないが、柱と梁ですね、柱であれば、例えば丸型の柱であったり、角形の柱であったりという、それぞれにあとはそのサイズとですね
0:38:25	板厚っていうんですかね、その厚さをもとに、

0:38:30	必要な厚さというそう塗膜表みたいなのですね、イトウ0農家単位で番号待 つとられているとあとは30分耐火なのか、
0:38:46	1時間耐火なのか2時間耐火くのかという単位で認定番号が与えられてい るというふうなちょっとなかなか口頭で言うのも難しいんですがそういった趣旨に なっております。以上です。
0:39:04	規制庁コサクです。いや今ので十分わかります。
0:39:08	それで、そのときに、
0:39:13	どの、水用のものを
0:39:18	認定を受けたものを、がこっちらで使うものとしていえるかどうかと。
0:39:28	単純に認定を受けたっていうだけでは
0:39:33	うまく宛、
0:39:35	たまらないってということだと。
0:39:37	理解をしましたけど、
0:39:40	ちゆ悩んでるのそういうところだっていうことでよろしいですか。
0:39:45	はい。日本原燃レビューアですと悩んでるところはそういったところで、ちょっと 先ほど私先走ってしまっていてしまったんですが、一つの考え方として、30分 か以下
0:40:00	よりも、ゆるい
0:40:03	ような入熱量という比較はできましたので、その保守的に1時間耐火以上の 大臣認定を取っていれば、まずはいいのではないかとあとはもう一つ、目的と してですねとさ30分対価が適さないのは時間だけではなくて、
0:40:22	そもそも想定しているのがですね、柱とかそういう構造強度を担保するもんで はなくて何か
0:40:30	建築基準法の人を逃がすことをし、主眼にしているので、階段であったり、そう いうものが30分対価の場合は対象になっているのでそれはあまりそぐわない となので、その柱。
0:40:43	ですね一つの我々が思ってるもそういうふうなものなので、
0:40:49	1時間耐火以上柱とかで1時間耐火以上の大臣認定とってる材料であれば、 一つのその前提条件として、／今回のこの前提条件に置くことができるんでは ないかなというふうなちょっと今頭の中では考えているところです。
0:41:08	以上です。
0:41:10	規制庁コサクにするおっしゃる通りだと思います。やはり
0:41:15	建築基準法で何を担保するための認定なのかということの中で同等性お話を してもらわないと時間とかですね、入熱条件っていうだけだと、やはり性能との 関係があって、

0:41:31	全体的に包含されなくなっちゃうので、
0:41:35	そういう点でまとめていただきたいと思ってますんで、その際に、大臣認定試験でひずみだ変形だと言っていた話も含めて、
0:41:48	言っている。
0:41:51	条件なり等、現にで使おうとしている条件が包含されるのかどうかと。
0:41:58	というようなことを整理をしていただくと、この認定
0:42:05	具体的には柱梁で
0:42:09	同じような寸法なんですかね、の中で認められている。
0:42:19	認められてそういうものは同じなのかこの程度の部材に対して、
0:42:29	塗装することが認定されている材料というような形でそれが条件が包含されるというのを整理していただくとですね。
0:42:41	まだわかってくるかなというふうに思いますので清流よろしく願いいたします。
0:42:53	はい、日本原燃布田です。
0:42:57	そっちました程度等、そういった趣旨で整理を続けたいと思います。
0:43:05	規制庁コサクでしてその整理はダノンもすでに悩まれてるということで作業されてると思うんですけど、どれぐらいで見通し立ちますか。
0:43:32	日本原燃の蝦名です。こちらですね当会合までには片付けたいのでちょっとまた 22 のときにでも報告させていただきます。
0:43:46	規制庁コサクですわかりましたよろしく願いいたします。まずそれを整理していただいて教育等でやはり
0:43:58	大臣認定試験のときは、炉の中に入っているということで温度条件が上がると幾ら時価Bだといったところで
0:44:11	どの中というわけじゃなくて、村一般のようにですね、片面
0:44:16	出野市だということには、想定は変わらないわけで、変わらないというか、大臣認定試験によりはゆるい。そOKをする。
0:44:30	ものだということなので、そういったところでの裕度は多分、やはりあるんだろうなあとと思いますんでもう整理中で、きっと必要に応じてそのの違いなども含めていただいたらいいかなと思ってます。
0:44:49	その上であれですね、いった爆発自体はまた別途の
0:44:56	ここでやるというところとの繋がりも一応つけておいていただければ
0:45:01	全体が流れるかと思えますんでお願いいたします。
0:45:05	メインと現時点においては、以上です。
0:45:10	日本原燃の斎藤でございます。承知いたしました。
0:45:22	そうです。

0:45:23	議論を次の別添 8 で、しようと思っていたんですが別添 8 のほう途中とは思いますが、今日提示されたものは少し更新されて共有ということなんでしょうか。今日の審査会合の資料のほうが、
0:45:40	日本原燃の飯田です。この別添 8 は、現状はちょっと前回お出したものを、にしか過ぎませんので、ちょっとそっからは検討がまた進んでるので、会合資料にはもうちょっと進んだ記載にはなってますから、記載はこれよりもかなり漠とか、
0:46:00	明石はいただいておりますが、はい。以上です。
0:46:03	はい、規制庁からです。承知しました。できれば 22 日のヒアリングは、その辺も進捗ガス相当進んで今の議論も踏まえた上でのものを確認したいんですが、
0:46:19	そう、そういった見通しみたいなのを何かないでしょうか。つまり月曜日と紙を作らへんの財務含め直されて提出いただくようなことって可能でしょうか。
0:46:43	日本原燃の蝦名です。ちょっと恥ずかしい話なんですけど、今までの対応の店頭のためにちょっと残業残業時間のほう大分使い果たしてしまってますね、ちょっと本来ならこの土日とか、作業できればいいんですがちょっと作業する余力がないので、
0:47:00	ちょっと月曜日に作業を進めてですねどこまでできるかというのはチャレンジはしていますが、ちょっと約束できるような状況ではないということだけはおきます。以上です。
0:47:14	図 1 の方で承知しました。22 日のヒアリングでは整理状況をやはり一番ちょっと確認しておきたいので。
0:47:23	その場で口頭でも結構ですので、どういう整理になりましたっていうところを説明いただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:47:33	はい。日本原燃頻度です承知いたしました。
0:47:38	規制庁かですね別添 8 のほうは前Sいただいたものとのこととして、特に確認したいことはなくてむしろ更新された状態を確認したい。
0:47:51	別の規制庁あったら他の別添 8 も含めた別添 8 で何かございますでしょうか。
0:48:05	引き続き規制庁ヶ月でしたら別添 9 からの施工管理のほうに移らせていただきます。
0:48:13	別添 9 施工管理のほうは、まず初めにあった上限
0:48:19	の考え方はですねその辺がとなつたのが書かれてないっていうことでその辺を追加させていただきたいのと、
0:48:28	一方ですね、

0:48:31	前回コメントしたら、レット不適合管理みたいな話が 98 ページの下限值のところに追加されたんですが、これで下限値として整理するというよりももうちょっと大枠ではクドウって、
0:48:48	このほかに何なりに整理したいだければと思います。
0:48:53	あと園児マルバツ系の話は分配の好はこのぐらいあれば十分かと思うんですが、
0:49:02	その辺はあまりn等やっぱ知見もありませんので、
0:49:09	コサク調査からこの辺でちょっと見て何か思うところありますでしょうか。17 ページ目の
0:49:16	やっぱり 2 の当店字幕圧計の話が追加されたんですが、
0:49:27	更正のやり規制庁コサクですけど、構成のやり方なんですけど。
0:49:32	なにをその整理にして、
0:49:35	対応してるかっていうのを説明いただいていいですか。
0:49:40	日本原燃田中でございますちょっと 8 ちょっと今、ちょっとこちらに校正記録とか、持ってきてないので元気が具体的に何だっという話はちょっとできないんですけれども、
0:49:55	基本的に国家標準値クラスまでのところまで追っかけていって仕組み等としてはプローブ自体は電流値マルチメーターを使ってそれを確認しておったりとかってようなちょっと内容をやっております。
0:50:12	以上です。
0:50:15	すいません。規制庁コサクですけど、今言われたとこだとその電圧の変化っていうのがどういうふうに出てるのかっていうのは
0:50:26	9 月の違いでどういうふうに出るのかっていうのは説明いただくとわかる。
0:50:30	やすいなとは思いましたが、お聞きしたかったのはそれとの関係にはなりつつも
0:50:39	ゲンキーが何かっていうのは最終的にはあるんですけども、どちらかという標準へんとかがどういうもので
0:50:52	やられているかっていう具体的な構成の内容みたいなのを明確にしてもらったほうが多分非常にわかりやすいかなあと思ってますので、実情とかをもうちょっと
0:51:07	しっかりと書いていただいたらわかるかと思います。よろしく申し上げます。
0:51:13	日本原電たかで政党そちらについては整理して記載したいと思います。
0:51:24	それ超過です。
0:51:26	あと、今この資料が何か、それとも見直し作業とする。
0:51:30	埋められているのでしょうか。

0:51:32	これで終わりに今のお話概ね終わりでしょうか。
0:51:39	きちっとコサクですけど、上限値イワマでも暑さの上限値はないから。
0:51:46	先ほどの管理の話はこここうでは出てこないんですかね。
0:51:53	施工管理の一部ではあるんですよね。
0:51:58	どうせと日本原燃卓越
0:52:01	どうぞ。日本原燃田中でございます。すいません。ネットマ上限値につきましては先ほどちょっと前半のところで御指摘いただいた通り何らかのやつが必要でそれが施工範囲管理の範囲になるかとなるかならないかっつうともどちらかというとなるほうに入ることは、
0:52:20	思います。ですので一旦受けした内容をまたどう取り扱うかちょっと検討して適切見えと反映したいと考えております。
0:52:38	規制庁コサクです。よろしくお願ひします。
0:52:40	私から1、
0:52:42	以上です。
0:52:44	規制庁かですと、この資料はこれでほか規制庁から何かありますでしょうか、施工管理関係、
0:52:53	特にないようでしたら別添10維持管理のほうに移りたいと思います。維持管理の方がですね、全体今ヒアリング0近くにページの罫理財かなり材の劣化モードが五つあってスマート耐火被覆の劣化モードが四つになると。
0:53:13	三つあったのは、次なんてと見直して、
0:53:16	もらったほうが温度差に関してはこれは本当に耐火被覆の劣化モードに追加しなくてもよかったんでしょう。
0:53:25	日本原燃田中でございますねと温度差というものはその決まっ食うのところの経年による公開か効果はその温度差による伸び縮みに対して耐えれなくなる事象だというふうに考えておましてTHAIカート層につきましてはそういったものが起きにくい素材と。
0:53:44	いうことで考えてございますそのためと劣化のほうに厚い入らないよう帰らないというふうに考えてございます。
0:53:54	規制庁課です。そういう中成分に基づくようなものであれば、そこはもうここから流れで、そのモードが消えるっていうことが何もなく、あるので、今、整理されてないので、その3章のところとかに
0:54:10	何かひとつというものですよというふうに書いていただけるとありがたいんです。
0:54:15	だから、

0:54:17	日本原燃いただくでございます。一応ですね等防止の 102 ページの上の表になるんですけどもこの中の当劣化のシリーズの中に④の温度差で取材以外のマークが経年劣化で、
0:54:33	叩くなりというふうな表現で一応記載はさせてございおりました。ちょっとここだけの記載ではそういった我々の主張としては読み取りにくいという御指摘なのでここについての記載方法を含めて見直したいと思います。以上です。
0:54:50	はい、規制庁からです。確かにここに書いてあるのは十分理解していたんですがその何なんっていうところがなかったの、今説明あった通りする等でそういうものが入ってないっていうことをちょっと
0:55:05	それがわかるように追加いただけると助かりますのでよろしくお願いします。
0:55:13	追加例ですけど今回 105 ページ、106 ページ。
0:55:17	次にを教える容量一覧多かったり、つけていただいてわかりやすくなったんですが、これ
0:55:24	ちょっと気になるところがございまして上塗りいざ中、この取材がの方、
0:55:32	伴。
0:55:33	村長の判断みたいなものが色で運搬するような感じになっているんですがそういう認識でよろしいでしょうか。
0:55:42	日本原燃田中でございます。基本的には色で判断つくと考えてございます。成長からです。学びたいと中の利ぎやの取材がしろっていうのはわかるんですけどかなり材は意匠性等々あっていろんな色になると思うんですが、結局その
0:56:01	千葉委員。
0:56:02	しっかり色分けますよっていう施行。
0:56:06	考えているから大丈夫っていうようなことなんでしょう。
0:56:09	日本原燃田中でございます。基本的に当行上塗り材の色といたしましては屋外の機器ということで、原燃内で色は統一されており、実態としては薄い緑色ぐらいな程度になってございまして十分しっかりと色が違うものだ。
0:56:27	と考えております。以上です。
0:56:30	規制庁からもそういう色が統一されてるんであればそれを書いていただいたほうが多分よくてですね今廃炉てるんですね、その表の中で、
0:56:41	回路ですこうするとも書いてないのでちょっとそういうところを少し充実していただければと思いますので、よろしくお願いします。
0:56:50	日本原燃田中です。承知いたしました。
0:56:55	規制庁クラスとか、私からは一緒なんです、維持管理の関係で規制庁側から何か追加で確認したいことございますでしょうか。
0:57:10	規制庁コサクです。

0:57:13	大した話ではないんですけど、この図、
0:57:18	事例 4 の
0:57:21	全挿保守
0:57:24	当室のところの話をするのが一番わかりやすいと思うんですけど、いくつか段差がつけられて補修する形になってんですけど。
0:57:35	この絵だと当然そう。
0:57:38	補修の部分がすごいピンポイントで補修するように見えるんですけど。
0:57:43	基本的には施工できる。
0:57:46	広さを持ってやるの前で、
0:57:49	小さくしているだけと思えばいいですよ。
0:57:53	日本原燃田中でございます。スペースの都合上へとこのような絵となっておりますまして沢山の絵と言ってる通り、十分な広さを持った施工範囲となります。以上です。
0:58:05	規制庁コサクです。まずそれで理解をしつつで段差をつけているのは、下塗りのところと上塗りのところなんですけどな。
0:58:17	無理。
0:58:19	何とか取材等中塗りの間っていうのは、
0:58:25	ここは段差を使うんでしょうか。
0:58:41	少々お待ちください。
0:59:08	日本原燃田中でございます。こちらについてはと表現上を段差を設けているだけで実際実績としてこういう必ず段差があるというものでは、
0:59:17	ないものとなっております。
0:59:22	規制庁の古作です。それは何かっていうと、塗装の除去方法だったり、施工時の前処理の状況っていうこと等だと思っただけです。
0:59:36	今の事例 4 の
0:59:40	全挿講習で経営層下塗りのところで段差をつけているというのは、下塗りを剥がすものをまず剥がす問題がありそうなところは一通り剥がすということをした上で
0:59:58	それに多少その下塗りが残ってる範囲というのを
1:00:04	設けるということかなと思って。
1:00:07	いたんですよ。
1:00:09	それと同じように生む中のRI上塗りのところもそういうことをするのかしないのか、それが、それで大丈夫なのかどうかと。
1:00:18	いうことを確認したかったということなんです。
1:00:22	うんですけど。

1:00:24	その辺りも少し整理をしてまとめておいていただければと思います。
1:00:30	日本原燃田中でございます。実態に即したような記載なりを、ここは見直したいと思います。
1:00:59	静聴形でした。
1:01:03	どうぞ。
1:01:05	kJ／リースや次にかどうかを聞き子供だけで次回お願いしますのは、はい。
1:01:11	規制庁返すルートほか規制庁側からありますでしょうか。ちなみにこの資料はもう今のコメント対応で退会維持管理することがまとまったという認識でよろしいでしょうか。
1:01:25	日本原燃田中ですけれども、我々としては、そのように考えてございます。
1:01:30	はい、規制庁かですねあと今後の審査会合でも施行。
1:01:35	管理維持管理の部分はしっかり御説明いただくことになっておりましたので、その辺と長の会合資料には含まれておりますでしょうか。
1:01:49	日本原燃田中でございますシステム審査会合資料とつきましては残念ながらちょっとここまで詳しい内容についてちょっと反映できてないところもありますので
1:02:00	こちらの内容について適切に反映を入れます。はい。以上です。
1:02:08	正当化です。全部が全部入れるデータベースみたいにするっていうことではなくてですね、その考え方とか戦争しっかりポイントポイントを絞って含まれていれば結構ですので、そのあとは介護の議論に時にいろんな
1:02:25	と聞かれたときにこたえられるようにしといていただければと。
1:02:29	思いますんで、その辺の準備よろしくお願いします。
1:02:34	日本原燃田中でございます。承知いたしました。
1:02:38	規制庁お伺いするそれでは別紙のほうに移りたいと思います。別紙のホウ酸三つありましてまず別紙 1、燃料加工建屋の評価書ですから、
1:02:49	建家のほうは許可での整理資料の
1:02:54	内容を今回追加してもらったということでこれで大体
1:03:00	書くべきことは、
1:03:03	であるのかなと思いますので、すいません、日本原燃石原でございます。
1:03:08	この建屋ー別紙 1 なのですが、大変恐縮でございますアームを構成含めて、もう少し見直しが必要だと思ってまして、私の十分確認できてなくて恐縮でございます。大きく 2 点ありまして、
1:03:24	1 ポツ 2 ポツで書いてある内容の燃料加工建屋を評価をします要因ですが、外資系代表にする検証すればに対する影響どう考えるっていうのは、これそもそもこの

1:03:37	エンプラの補足説明資料の構成からいきますと、評価部位の考え方を共通で本分に示すところでちゃんと書かないとですね、これ全体共通ですので、ここで改めて括弧のではないので後世的なギャップおかしいとね、そこはちょっと下の本文も含めて、すいません手直しをさせていただきたいと。
1:03:55	いうことと、あとこれの補足をすべき添付書類の関係だとこの拘束はもう補足説明資料自体のもともとの頭のほうの分離っていう評価のポイントから考えますと、
1:04:11	3ポツで外気の温度うち影響評価と言ってますがもともと評価の対象は、航空機墜落火災については、外気の温度上昇と建屋内部の温度上昇をこの二つの評価をして外壁の構造健全性の機能に影響がないことを
1:04:29	あとは建屋内のいわゆる家財もう対象施設の安全機能が損なわれないことというものを二本立てで評価をすると言っている場合には、そういう構成になってないのでそこを見直しをさせていただきたいと思っております。また、特に3.のところで許容温度を超える日領域がある場合の評価とか、
1:04:49	出ますが、もともと僕の外部化3日航空機墜落箇所については直近で火災を起こすの許容温度の関係は特に行ってなくてですね、これは添付書類の説明人間ぶ処理後協会でも同じでございまして、先ほど申し上げました外壁の温度の上昇。
1:05:05	そう考えたときに、開閉器側の知見機能に対して影響があるかないかと影響がないように設計しますというのは、評価のポイントですので、そういうことがポイントとしちゃうと見解されるように、この構成自体もちょっと見直しさせていただきたいと思ってます。書くべきこと自体はすべて書いてあると思いますのでその辺の見直し、
1:05:25	委員をさせていただきたいと思っております。大変申し訳ございません。
1:05:30	規制庁からです。向性が見直されることは理解しておりますので本分側に行くということであればそれで問題ないと思っておりますので、ちょっと途中気になったのはその出戸な内部の話があったと思うんですが内部の話で具体的に。
1:05:48	何の形をされています。人者でございますが、これもちゃんと書き切っていないところが関係してございますよね論文地点が113ページにあります、この外壁直近で航空機の火災が起こった場合に、
1:06:05	5cmぐらいまでは200度交流の温度で17cmまでくん当庫柔道行くと、この外部火災のこの解析でもあるんで紹介する前提条件の初期温度50度ですので、17cmの壁を使うと、結局初期温度と同じになるんで。
1:06:23	1.2メートルなる雷撃であればその違いの温度変化はないということか結果になりますということ。

1:06:31	ちゃんと書いてない部分は今の結論になってまして書いた上で、ボンベ変化がないということはイコールに入っている外部火災防護対象施設の安全を損なうことはないという結論になるということです。
1:06:46	その辺はわかりました。この話でしたが、やっぱりまた記載の確認していただければと思います。
1:06:54	ちょっと1点伺いたいん別の構成の話ではなくてですね115ページ目の市役所5ページ目につくと、例えば全体の保持機能追加していただいたんですが、この許容応力度をはどんな許容応力度になってますでしょうか。
1:07:32	日本原燃の阿保でございます。すみませんちょっとこの記載については確認しさせていただきたいと思います。すみません。
1:07:42	規制庁かですね、コンクリート許容力クドウなんで、一般使われてると思うんですが本資料の中でこの許容応力度を能力の形で出てくるのはありませんのでちょっとその辺も出展とかですね後どういものなのとかかそういう説明は、
1:08:00	0と考えておりますので、よろしくお願いします。
1:08:05	日本原燃の阿保でございます承知いたしました。
1:08:09	規制庁、岡です。こちらに関しましては他からな。こちらからはないんですが、規制庁側から、うんとかありますでしょうか。
1:08:29	特にないようでしたら、ベシ金に冷却塔の評価書のほうに移りたいと思います。
1:08:36	こちらもいろいろ見直していただいて、また修正作業中ということになっているんですが、構成の話、おそらくあると思ひまして、その辺はまた案的に見直していただければと。
1:08:49	思います。
1:08:56	見れた中でございますけど構成については継続して見直しを続けます。サトウですねちょっと読んでて紛らわしく感じたのはその温度上昇という欄がかなり絶対4度と相対温度でどっちも使われてて、
1:09:12	このケースはどっちかっていうのを考えていかないと感じていたのでちょっとわかるように願ひします。そういうところを、
1:09:23	日本原燃田中でございます。温度の相対的絶対的っていう記載についてちょっと何かにかかけ分けをしたいと思ひます。
1:09:33	規制庁化ですとちょっと気になったのは139ページ目、間違えてるのかもしれないんですけど一番上のところ、カレント評価対象物配員距離が下回ってる場合バックフィット引く2mmを施工するっていうのは、
1:09:50	何かちょっとそこで2mmを使っているケースがあるんでしょうか。

1:10:01	日本原燃田中でございます。こちらについては申し訳ございません。誤記でございます。3mmとなります。以上です。
1:10:09	規制庁価格とやれば安心して全部一律 3mmという理解でしたので、党派ことであれば、
1:10:18	それと、大丈夫ですと 39 ページ目。
1:10:28	戻って、
1:10:30	今追而となっている 5.2 の中部サポートの許容温度なんですけど、これ何か内アラムがあるんでしょうか簡単に考えると、すぐめくるような間いだと思まして、実際、後ろのポンプピット、
1:10:45	そういう許容温度をちゃんと使われていることを確認できるんですけど、ここ数字なってる理由って何なんです。
1:10:54	日本原燃田中でございます。こちらについては、
1:10:58	たら単純な話でございましてと編集作業の方はちょっと追いついていなくてですね、これの提出独自に築地な状態でちょっと出ているっていう状態でございます。
1:11:09	以上です。はい。規制庁紛失正直ましたねと、結局その後ろの後半で出てくるような評価結果の部分で使われてるようなものがここで書かれるってということですね、落ちました。
1:11:25	日本原燃田中ですねその通りの理解でございます。
1:11:28	はい、規制庁からです。当社来る 44 ページ目で急にその原動機の評価結果が停止中と運転中で低デマチ定例の考察としてすぐわかりやすいとは思ったんですけど、
1:11:44	これ、そもそも
1:11:46	ここまで運転停止、運転っていうのはしないような
1:11:54	論調だったんですが、何か。
1:11:57	何でしょうか。
1:12:17	日本原燃田中でございます。時等実機の状態としては運転中の場合電動機本体からの発熱がありましてその際に系温度が変わるといったものでございましてちょっとその取り扱いをちょっとどうするかっていうのがあったと社内でも少し議論になった。
1:12:37	おりましてちょっとその一つを等がちゃんとできておらず、ここだけに系統を運転中という記載が今出てきている状態となって、
1:12:48	おります。こちらの記載についてウワー
1:12:55	疾病等整理して当月な冷凍残してと他の部位に記載を追加するないで対応取りかえと思います。以上です。

1:13:05	規制庁からです。論調と同じような結果にはなっているものの、十分価値のある結果だと思しますので、何らかのここで比較して考察等を含めた
1:13:20	見ればわかるんですが、そういう結果になってると思しますので面白いのでお越しいただけたらなと個人的には思いました。
1:13:29	よろしくお願いします。
1:13:31	日本原燃田中ですね了解いたしました残す方向でいきたいと思います。
1:13:37	規制庁かですね、東北側と使用した物性値とか、やはり今回も急いでたつていうこともあるかもしれませんが、出展とか根拠とかが全くない状態ですので、その辺はしっかり整理していただければと思います。
1:13:56	日本原燃だからですね出展エビデンスについて整理し記載したいと思います。よろしくお願いします。
1:14:04	続いてお伺いするの駆け足になりましたが、この別紙2に対する私からのコメントは以上ですな。規制庁タワーなんかありますかでしょうか。
1:14:31	規制庁かですねとこそ、ごめんなさい。規制庁コサクです。評価自体にはあんまりコメントないんですけど、施工範囲で、
1:14:44	考えかっかをちょっと大きい機種確定ですね、多分評価は
1:14:51	ちょっと、
1:14:53	金利減なんですかね、あの評価が多いと思うんですけど。
1:14:58	どこも動向見ればいいのか。
1:15:03	多分本体側の資料になるんだと思うんですか。
1:15:11	7名とかはあまり考えずに、
1:15:14	施行。
1:15:16	塗装が施工しますと言っている9ページですかね。
1:15:28	6、これで
1:15:30	火炎ちゆうの上端からは
1:15:35	円を
1:15:37	書くような形で範囲を設定するようになっているんですけど。
1:15:44	これは本当にこういうふうにやってるんですかという、
1:15:48	ことなんですけど、単純に円柱のようにしてではなくてこういうドーム状の扱いに
1:15:57	してるんですね。
1:16:06	エイティングの田中でございます。当検討としましてはPOSページの9ページにある4-2の図の通り、円柱に対してその円柱の上限以上のところは7名輻射ということでこういう3円。

1:16:23	書いたようなものとなっております。ただ今回の冷却塔につきましては物高さがそこまでパツくないので円柱状の評価で収まっているものとなっております。そうです。
1:16:38	起こりましたけれども先ほど話したように、本文で距離を囲う距離というか施工範囲を書こうとすると、こういうものだとなかなか書くのが難しくなるなと思ってたんですけど。
1:16:51	実態としては単純にかけるといことで、少し安心しました。
1:17:01	うん。
1:17:02	はい。
1:17:04	阿部知を伺ってすみません。別紙の今全部終わったってということですかね、別紙3が残ってますが、わかりました。続けて、
1:17:16	そうですね。
1:17:19	規制庁化ですとや続いて、Cさんのほうに移りますが、こちら加圧器ネットということで初めに示し申し上げました通り、ちょっと/Vをやっぱりが不足してしましてもっと抄たらしいなという判断を
1:17:37	例えば同じ会合で竜巻のほうではすごく細かく部位を示したのに、外部火災ではこれでいいのかっていうふうになりますし、影響与えるものでもっとたくさん類を細かくすると出てくると思うので、その辺しっかりまとめていただければと思って今まとめているというふうに
1:17:55	初めのほうを伺いましたが、
1:17:59	そういう認識で大丈夫でしょうか。
1:18:02	日本原燃田中でございます。そうですねと記載についてちょっと冷却塔のほうから先に進めていたというところもありましてちょっとこっちが今記載上手薄になっているというのは、指定できない事実でございます。こちらについてネットマ冷却と同様細かい部品までとちょっと分解して記載したいと思えます。
1:18:22	規制庁かですね、こちらの資料はそれを踏まえてなったんになるとは思ってましてちょっとまずはそこを見たりというところではあります。
1:18:33	ということで別紙のほう全部終わりましたが、
1:18:38	ほか規制庁側から別紙何かございます。
1:18:51	規制庁コサクですけど別紙については、特に別紙3は何かまだ作業がっていうことだったのであれなんですけど、この後、本文を改めてなめてどういうふう
1:19:04	に 直していくかみたいな話を聞かせていただくってことでよろしいですか。成長過程で使いそのつもりしております。
1:19:12	はい。規制庁コサクですわかりましたよろしく申し上げます。

1:19:17	規制庁岡です。今調査官からもありました通り、今までの議論を踏まえて、
1:19:24	特に2ポツのところはいろいろ議論しましたかちょっと2ポツのところやはり気になりますので、
1:19:32	また説明いただけますでしょうかあの議論を踏まえた状態としてどういうふうに直すのかという。
1:19:45	はい。日本原燃の蝦名です。まずで進めまず3③番ですね③番は詰まるに包含される話なので②の内数として入れてしまうと。
1:20:01	いう話とですね、あとなる交番ですね、ここに競合温度の話が出てきますんで、そこに許容温度ってどういうことが具体的にはそんな必要。
1:20:17	なお、当荷重に耐えられるの設計であったり、そういうふうな等を
1:20:24	皆顔温度が何を目的として設定されるのかというふうなところを記載していくというふうなところっていうのが日報つの修正点かなというふうに考えてございますので、
1:20:43	はい。以上です。
1:20:49	規制庁コサクです。
1:20:51	作業項目という意味ではいいのかもしれないんですけど、③がどう②に入っていくんだらうとかっていうのを考え、
1:21:04	ときに、結局別添なり別紙なりをお聞きしたところと繋がっていくように求めているかなきゃいけないということだと思ってまして、例えば
1:21:15	MOX建屋の話で、先ほど別紙のところを見直しますと言ったのは、
1:21:21	④の記載に帰ってくると。
1:21:26	いうことだと思うので、まあそういったところ全体
1:21:30	整理をしていくっていうことでよろしいですね。
1:21:37	はい。すいませんちょっと具体の作業の話になってしまいましたが、内容としてはそういった表をお話したことを踏まえてちょっとまだ記載が足りてないところとかはありますんで、
1:21:54	ここに書かなきゃいけないことっていうのがまだ足りてないっていうものはあるんでちょっとそこは議論を踏まえて、何を書くべきだというのをもう一度整理して記載を改めるという作業が必要かと考えてございます。以上です。
1:22:12	規制庁不足でそういうものを執行面会しますって、ちょっと念のため確認なんですけども⑤の中の三つ目のポツ、
1:22:24	これはどういう意味になる。
1:22:27	んでしょうか。
1:22:34	日本原燃の蝦名です。こちらはですね

1:22:40	被膜が棒者熱板とかあと耐火被覆を施工するにあたって、わかりやすい例で言うとその対価あごめんなさい斜熱いったがですね、例えばはっきりの影響与えないとか、
1:22:58	あと、耐火被膜についてもですね、例えばもう何も考えずに例えば伝熱熱交換する部分に塗ってしまうとそれは本来の安全機能を阻害する話であるんで、そういうところを考慮してちゃんと設計しますという方針を記載してございます。以上です。
1:23:19	規制庁の古作です。それがすごい悪過ぎてよくわからなくて、さらに二つ目のポツも摺動部だとか施工できないとかっていうのはその一部に入っちゃったので。
1:23:33	ここももう少し内容を整理して記載いただく必要があるかなと思ってます。
1:23:42	日本原燃、蝦名です。確かにおっしゃる通りとする防護の話も、その余三つ目のポツの一部であると思いますんでそこはちょっと整理して記載を考えたいと思います。
1:23:57	規制庁告別よろしく。
1:23:59	お願いしますって、⑤の一番最後のポツは、家が言ったところでウェイ側に入れてってということだとは思いますが、それ以外に、ここでまだ残しとかないといけない内容というのはあるんでしょうか。
1:24:23	日本原燃蝦名です。
1:24:28	本日、定数させていただきました
1:24:33	介護資料の
1:24:37	イメージのものなんですけどもそこそこにはこれ記載してあるんですけど、の遅めというか順番は書いてるんですが、基本的には今全部残った状態になります。
1:24:49	以上です。
1:24:53	規制庁コサクですけどそうすると、
1:24:57	何か言いたいのがこれでもうよくわからないので、
1:25:02	最初の文章で設計コンセプトを説明いただいた上で残るものがあるならば、その趣旨がわかるように、躯体を少し整理をしていただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。
1:25:18	はい。日本原燃蝦名です。具体のわかるような記載にちょっと直す残すもの。
1:25:25	というのをちゃんと考えて具体がわかるようにしたいと思います。以上です。
1:25:33	規制庁、古作ですよろしくをお願いします。2ポツまでは私は1億です。
1:25:40	規制庁から外れていまして3ポツ名／前提になるような二つが書いてありますのはホッカンさんに

1:25:50	今日の議論でここに入れるべきものとか出てきましたでしょうか。
1:26:04	日本原燃の蝦名です。まずは3ポツ1については特段、今のままバーナーというふうに考えてございます。
1:26:18	組み合わせの
1:26:21	三つついても、
1:26:24	少々お待ちください。
1:26:35	日本原燃蝦名です。3ポツにつきましても、ここの記載はこれでいいのかなというふうに考えてございます。以上です。
1:26:49	成長過程するほか、何か本検討していく上での前提条件みたいなことから、ここに書いた表を思うんですが、
1:27:00	一方、それらのことなかったでしょうか。
1:27:08	規制庁直ちに復旧とかって本文のほうではどういうふうに表現されますでしょうか。
1:27:25	日本原燃蝦名です。不
1:27:30	9のところはですね。
1:27:33	そこに入れるかって規制庁コサクですけど、3ポツ2の下から3行目に航空機墜落火災の影響が及ぶ期間においてって書いてあるんですけど、これだとよくわからないので、復旧も含めて考えていると。
1:27:49	いうことを明確にしていただければと思います。
1:27:58	日本原燃蝦名です。3ポツ2で確かに
1:28:04	そういうふうなことを書いてはいるんですが、ちょっとここ、ここで復旧が出るとちょっと早すぎるのかなという気はしてたんですけども、ここでちょっと復旧も絡めて
1:28:16	記載したいと思います。以上です。
1:28:20	規制庁コサクですけど、何が早いと思われているのかよくわかんないんですけど、
1:28:26	ここで確率の話があつて復旧が何があつて、
1:28:31	その時間がどれぐらいでとかっていう話をしたと思ってるんですけど、何か私も間違っていましたっけ。
1:28:39	規制庁かですね、私もその認識で今伝えましたが、
1:28:46	すいません日本原燃蝦名です。ちょっと勘違いしておりました途中段階で等々の考慮すべき事象等、その復旧の話がちょっと分かれてはいたんでちょっとそのイメージだったんですが、今の制度とここで記載すべきだと思えますのでそのようにさせていただきます。
1:29:07	議長加熱よろしく申し上げます徒歩から独立になっちゃったでしょうか。

1:29:13	でしたら4ポツの設計方針なんですが、こちらは
1:29:19	イトウなんか見込み見通しとございますでしょうか。
1:29:24	日本原燃の蝦名です。ここの部分4設計方針の部分では
1:29:34	ちょっとこれ書き方の作法になるのかもしれませんが、今回のものというふうな形にして築地みたいな話を家単純について書くのは楽するっていう話と、あとはですね
1:29:50	斜熱みた。
1:29:52	の
1:29:54	仕方というのがはっきり、はっきりと言う風に記載が薄いので、そこはCAMPもちょっと厚くかという話とですね、あとは
1:30:07	東洋温度ですね特に支持構造物の許容温度というところで、今、その構造、
1:30:18	増がすいません施設ごとに当温度を決めてるんですけど結局考え方としては一緒の話なんでちょっとそれさっきの米三に凸の方でまずはそういうふうなことを会見後ろの方でそれを受けて記載を、
1:30:34	ざっとするのかというふうな話を検討するということ。
1:30:41	ですね、
1:30:44	あと少々お待ちください。
1:30:58	日本原燃の蝦名です。すいません、あとはその他これらのところが、今、4ポツ用にあるんですけど、これは2ポツのほうに
1:31:08	記載を当移すという方向で、はい、そういった形で、以上です。
1:31:19	成長過程の最後に言ったらその他をどこに移すと言われましたか。
1:31:30	日本原燃蝦名です。日報つつ、
1:31:34	だと思ったんですが、
1:31:43	規制庁コサクですけど、2ポツに先生が入らなきゃいけないの確かなんですけど、それを踏まえて、ここの4ポツでどうするかっていうのは、残らなきゃいけないんですよ。
1:31:56	生徒揉めるすいません勘違いしております、2ポツのほうが、
1:32:01	Ssがないんでそちら見え戦争書いて4ポツの補法案の4ぽつ4の残すということで、さっきの古作ですけど、そうすると4ぽつ4ではなくて、4ポツ3の中にそのエッセンスが入り込むんですよ。
1:32:21	はい。日本原燃層ですねそうなると思いますはいはい。ごめんなさい、4ポツ3っていうのは、4ポツにも含めなんですけど、一つの全体の中に溶け込んでいくっていうことなのでその構成をちゃんと整理してくださいということです。
1:32:36	はい。失礼しました。そのようにしたいと思います。
1:32:41	規制庁コサクですのもう一つ、

1:32:44	まずきつきしたいのは、そもそも4ポツの構成がどういう考えなのかなんですよ。
1:32:52	まず、4ポツの柱書については、これは位置付けがよくわからなくて、
1:32:59	すごい公開をするんですね、温度上昇は減。
1:33:03	定例的だとかですね。
1:33:06	いう部分が当第3段落も十分距離が確保できれば維持できるんだとかですね、何か後ろ向きな費用に聞こえるんですけど、距離をとることが大事だとか、温度は上がらないようにするのが大事だみたいなことの趣旨で、
1:33:25	書いていただいたんなら理解できるんです。そういう点では設計にあたっての考慮事項とかですね。
1:33:36	まずその何を言ってるのかわかるように、まず項目出しをちゃんとしてから変えていかないと柱書きとしてはちょっと不適切だなというふうに
1:33:48	思ってます。
1:33:52	どこまで把握ある書く必要があるかも含めなんですけど、その点は整理をしていただいて、
1:33:59	その上で、4ポツをどう構成するかっていうのがまず部位を上げ、
1:34:06	次、
1:34:08	分類し、
1:34:11	そして設計方針で設計方針といいながらも評価を法的なことだった。
1:34:17	はい。いうふうになっていて、ちょっと頭が追いつかないんですけど、この辺りはどう。
1:34:25	今の一番最初の考慮事項的なことっていうことも含めて全体像をまとめていくおつもりでしょうか。
1:34:36	日本原燃の蝦名です。確かにおっしゃる通り、外部構成をされていく過程で残ったままになったり、
1:34:46	とかっていうのが結構あるので、当課見直すんですが、イメージ信頼を当社側の設計方針としておっきな等々考えカッターを書いてそこから今度設もと鈍いを出して部位を
1:35:06	にしてちょっと4ぽつさんのほうでその設計の方針ということで記載している内容がいまいちかもしれませんが、そういった流れで整理しようと思っているところです。以上です。
1:35:23	規制庁コサクですけど、
1:35:26	4ポツ1、
1:35:27	そのようにまず
1:35:31	部位を上げるんだというのであれば、2ポツのほうで

1:35:39	大枠ですね、えっとかあると思って、2 ポツの
1:35:43	①でABCDという分けてという流れでいくんだったら何の考慮事項は、ここで書く必要はなくて、その流れのまま 4 ポツ 1 で、それに応じてこういうものを
1:35:57	その機能としてはこういう合意が大事ですということと言われればいいんだと思うんですけど、その上で、そのパーツパーツで
1:36:10	考慮しなきゃいけないことっていうのを、
1:36:12	4 ポツ 3 で語っていただければいいと思います。
1:36:21	4 ポツ 1 は 4 ポツ 2 に繋がってさらに地山に繋がってっていうことを頭出しをされればいいと思うので、
1:36:32	うん。
1:36:33	ここはそんなあれですけど。
1:36:36	4 ポツさん。
1:36:42	御考慮事項も含めてということに
1:36:45	なったときに、
1:36:47	外壁は、2 ポツから流れてきたところで構成してもらえばいいかなと思うんで、それで推移していただく規定括弧 2 の温度等(3)の冷却に必要な部位っていうのの関係がよくわからないんですけど。
1:37:03	ここはどう考えていい。
1:37:06	というのかということもそれは斜熱盤も含めてなんですけど。
1:37:11	一体何を評価してるのかよくわかんないんですけども時されちゃったか。
1:37:16	冷却機能のことを
1:37:19	7 日指示のことなのか。
1:37:22	一体何を評価してるのかによって評価基準も変わってくるんで、そのあたりをはっきりして欲しいんですけど。
1:37:33	はい。日本原電の蝦名です。
1:37:36	冷却水温度というのが確かにこれ前も言われた押田のコメントいただいたかと思うんですけどちょっとまだ整理が完全に良くないと思ってます考え方としてはその冷却水
1:37:52	温度が一番重要なパラメーターdでそれを達成するためにその必要な部位を開けてはいけないものというのを等がちゃんと許容温度以下であるっていう
1:38:09	ぶら下がるような形になるかと思えますんで、ちょっとそこは厚生棟また考えたいと思います。
1:38:18	健聴コサクですよろしく申し上げますでそのときに冷却性 4 ろう評価において、原動機とかは動作が期待をしなきゃいけないものになるんですかね。

1:38:34	ただ、安全の蝦名です。今ここで挙げてる冷却に必要な部位というところではまさにその原動機だとかそういうふうなものは必要なものというふうにして考えております。以上です。
1:38:48	規制庁コサクです必要なものってする程度感っていうのが、その関連性が
1:38:54	わかるように、冷却塔の冷却水温度っていう評価の考え方みたいな、県みたいなのはわかるようにしていただかないと、ここは一体何をやってるところなんだろうか。
1:39:07	というのがわからないということなので、整理をよろしくお願いします。その上で原動機減速機といったところ、
1:39:17	は謝絶盆でということ等なんですけど、あの評価のほうでは斜熱盤で遮るだけではなくてちゃ熱湾から 20 影響を踏まえてもというようなことがあるので、
1:39:31	その点もわかるようにちゃんと歩行はここまでの設計の関係。
1:39:37	かっていうのを含めて書いていただかなきゃいけないということだと思っておりますので、これも最後まで通して繋がるように近い値を上げていただくということの一環だと思います。
1:39:52	よろしいですか。
1:39:54	はい。日本原燃レビューです。はい、承知しました。その次の評価とかまで流れていかなきゃいけないのでそういった流れるような中身に整理したいと思います。
1:40:12	規制庁コサクです。よろしくお願いします。その次の支持構造物がやはり一番考慮としていろいろとあるということなので、ここの中でよく整理してくれと。
1:40:24	思いますし、最初にあった設計コンセプトというところはつなげて整理をしていくことがどの程度必要かも全体整理した上でたとは思んですけど、大事ななど、で許容温度は最初のほうで整理いただければ、こちら辺を淡々とかけると。
1:40:43	ということかと思しますので、
1:40:47	最初の 2 ポツで書いた程度に応じて上手くまとめていただければと思っております。
1:40:57	はい。日本原燃の蝦名です。承知しました。
1:41:03	規制庁コサクですね、その上で、厚さの話とか施工範囲とか、
1:41:11	別添なりの話も含めて言ったやつ骨格を表していただければ特にや大臣認定との関係で悩んでますといったところも
1:41:22	骨格を見せていただいて議論できるようにということだと思しますのでよろしくお願いします。
1:41:29	お母さんこんな感じでずっとなんかを残してありました。
1:41:34	超過で概ね熱海直されると思うんですが、

1:41:40	8 ページ目の内起伏厚さを論じている辺りとかが、
1:41:45	後ろのほうを参照にして設定したりしていて、ちょっとこちら辺で後ろ参照するよりはここで考えをしっかり示したほうがいいかなとか、そういったことはちょっと思っております。
1:42:02	いかがでしょう。
1:42:05	はい、YKTにも予備ですね等々ちょっと後ろに、
1:42:10	大分飛ばさ今飛ばしてる形にはなっているのでここで必要な考えはちゃんと書けるようにしたいと思います。以上です。
1:42:21	規制庁からです。よろしくお願ひします。
1:42:24	ええと4 ぽつ等は
1:42:28	先ほど初めのほうでもちょっと議論にあった
1:42:32	設計の考え方の四角のところもちょっと議論されるという皆をされるということ、それでまた確認したいと思います。その評価方針のほうつきたいと思いますが、評価方針として
1:42:48	このように、今回のヒアリングを踏まえて、こうされますでしょうか。
1:42:59	日本原燃れます。ノ分ですねこの評価方針のところは、4 の書き方によって多分巡ると思いますんで4 の記載を踏まえて
1:43:15	それと傾向が繋がりが必要になるんで繋がるような書き方にしたいというふうにございます。以上です。
1:43:29	規制庁仮設へと評価方針というふうになら七島立ててそのあと評価条件とか、
1:43:37	に移るんですが、方針ペース設計方針。
1:43:43	それはどういうふうに展開することを想定して設けましょう。
1:43:47	なるんです。
1:43:59	規制庁かちょっとわかりづらい質問でも、いや、日本原電レベルです。
1:44:04	ちょっと改めて見ると、何となくおんなじような似たような内容のことが書いてあるんで、
1:44:13	応答
1:44:15	もしかしたら
1:44:19	前欄のところでも話してしまってここ、
1:44:26	ちょっと、ちょっとすみません記載、今の記載ではよろしくないの記載してある内容は、もうちょっと評価の方針になるように見直したりと思います。
1:44:37	規制庁課です。その通りで今全部設計するというふうになった離隔間確認すれば評価方針かもしれないんですけど、設計するというふうになったりしていて、前パークが前の章と同じようなことが、だからその並べられていて、それはもう言いたいたいという、

1:44:55	ことになるかと思しますので、そこをちょっと必要性とか展開の流れを考えて再設定していただければなと思しますが、
1:45:06	総務規制庁側から僕から何かますでしょ。
1:45:18	規制庁かですね、コサクです。おっしゃる通りで、
1:45:25	やはり、設計投票書くって分けるのは、
1:45:28	あとは大事だとは思いつつ、
1:45:32	klイトウをよく理解をして書いていただければと思しますし、特にこれ骨格を示すところなのであまり細分化しなくてもいいものを細分化しなくていいので、場合によっては、次の評価条件等評価方法ってまとめてもいいのかもとか、
1:45:52	どの程度どう表現すべきかに応じて整理をしていただければと思します。よろしくをお願いします。
1:45:59	はい。取り込め値切らです。確かに評価条件とかを
1:46:06	剛心まとめちゃってもいいのかなって今思ってるるとこなんでちょっとまた改めて考えて冷静になって考えて記載を見直したいと思します。以上です。
1:46:17	規制庁かですね。続きまして6パーツ評価条件の設定なんですけど、こちらがAという、やはり5踏まえてどういう保守性方針になっておりますでしょうか。
1:46:43	鳥の目ねビザです。もう
1:46:47	／条件についてはですね。
1:47:01	委員長を
1:47:03	ほう。
1:47:06	東洋本
1:47:08	どこ。
1:47:09	のクライテリアになるようなところを、
1:47:16	もう
1:47:18	もっと何ですかね考え方を充実化させていくというふうな
1:47:24	イメージかなと思します。以上です。
1:47:29	規制庁コサクですけど、ほかの許容温度については特に支持構造物の許容温度については、2ポツでまず入口をちゃんとしていただくという話をしていますので、そのちゃんとしたところに対応するように書いていただくということだと思します。
1:47:48	こ4の2段落目に長期許容応力度相当云々とかってというのが、
1:47:52	あるので。それが最初に話をしたとことも関係するんだと思うんですけど、まあそういった辺りにぽつと整合取り組みしてください。それに関連して(3)だったり、過去にあつたりの許容温度っていうのが、

1:48:10	(2)はそれなりに意味が書いてあるんですけど、(3)は書いてなかったということがあるんでも同じように、その意味合いっていうのがわかるようにしてください。よろしくお願いします。
1:48:22	はい。日本原燃礼儀です。ちょっとすみません、私も頭の中で混乱しましたが、2ポツのほうで概略を書いてこちらの方でそれをもうちょっとつなげ展開を詳細化する若干するというふうなことで理解しましたので、そういうふうに修正したいと思います。
1:48:44	すべて超過する6.2と6.3は概ね1Gy議員です。評価条件する評価条件なんですけど、
1:48:59	日本原燃の清宮です。
1:49:05	そういう意味では6ポツ2-Aと航空機墜落地点の設定っていうのはどっちかって言えばこれは等々、
1:49:16	以下、
1:49:18	米国の施工範囲の合に絡んでくるような話や。
1:49:24	やっぱり、
1:49:26	そういう部分ですがとはいえ、ここで言うべきは株式に落ちるっていうことだけ言えばいいような気がするので、
1:49:36	ちょっと記載場所は考えたいと思います。
1:49:47	規制庁開発本数、
1:49:51	評価条件として、当座するっていうのは、ここで示す必要があるとは思いますが、初めに航空機火災の航空機の選定とかは全部条件として3ポツでして、
1:50:05	理解されていたりもしますので、ここまで直近落ちるっていう話では、初めのところから全閉
1:50:14	基本的な考え方では示すんですがそのあとずっとなくて、いきなりここにくるということで、その途中で今回回復の施工範囲の回路みたいな話が
1:50:26	別途適切に作られたのはちょっと、初めのほうに少し
1:50:31	仮定としてあったわけでもいいんじゃないかなとか連中も含めましてもそうで同じように、
1:50:38	耐火被覆の施工範囲のところで使ってる情報ですので、その辺は、前提条件として、
1:50:45	1回ちゃんと論じた上で、ここで評価のときにもこういうふうに設定しますよっていうふうに
1:50:52	説明されればいいんじゃないかなと思っています。
1:50:57	はい。日本原燃蝦名です。
1:51:02	本日お出した資料の中でも、

1:51:07	実際このA棟Ⅱ6-1っていうのは、図4-2とセットで並べてTHAI/。
1:51:15	被覆空洞対策の施工範囲ということではあるんでちょっとそういうのも踏まえて、場所とか記載程度は見直したいと思います。
1:51:27	規制庁コサクですけど、そうしていただきたくて、やっぱり設計の一番サトウの考え方のほうで、
1:51:36	評価ではなくて、設計なんですけども、4ポツ、もうまずは必要なんですけど、そもそもですね。融和なかったんですけど、1ポツ、
1:51:53	航空機落下確率評価についてを引用してるんですけど、至近におけることを想定しましょうという話がこれでは読めなくて、
1:52:04	この記載を、
1:52:05	本当に適切かなというふうに思ってたんですね、今の見直すことになっているので、
1:52:10	あれなんですけど、
1:52:12	そういうところから含め入口をちゃんと整理をするっていうことは大事なと思ってます。よろしくお願いします
1:52:21	はい、日本原燃レベルです。そっちでしょうか。
1:52:28	規制庁かでするもの6ポツ関係、つまり評価条件の設定という意味で、あとによって等ございませぬか。本日の別紙別添等の議論の中で、
1:52:43	いないようでしたら7ポツに移ります。離隔距離なん。
1:52:49	という章立てなんですけど、例えば、
1:52:52	何かお考えはありますでしょうか。
1:53:03	規制庁コサクですけど、すいません、そもそもこれ何で7ポツ率の件なんだっていうことで、単純に言うと設計のほうところに離隔距離をもって云々というのをそこでカタルればいいだけの気はするんですけど。
1:53:21	なんでむしろ飛ばしにしているんでしたっけ。
1:53:27	さらに8ポツ防護対策の中にしていって云々とあるんですけど。
1:53:33	何か考え方に使う。
1:53:37	日本原燃の原ですけど、あんまりちょっと大した考えではない。
1:53:41	またんですけど、一番肝になるところでしたのでちょっと賞を起こしてしまいましたが、
1:53:48	設計方針のあれですね、4ポツ1あたりで考慮しなければならないことの一つですのでそちらのほうに整理したいと思います。
1:54:01	規制庁かでちょっと今の気になったんですけど、離隔距離表自体は評価。
1:54:07	結果を使用されていてそれは思ったり架空のほうに展開されるのが自然じゃないかなと思ったんですけどどうというふうな

1:54:19	そういうふうに変更されるつもりでし効果、
1:54:26	規制庁コサクです。すいません。私のイメージとこの今、
1:54:31	加算が防護対策って言っていただいたので、私の頭とする。資料なり皆さんの頭がずれているということは今思い出したんですけど、耐火被覆評価をして強化がアウトのところについて防護対策を講じるという。
1:54:49	発想で私どもも相違なくて、
1:54:53	そもそも対策はあるんだと被覆をするんだという設計コンセプトが許可からもうあって、その施工の考え方ということで評価はその適切性の評価と
1:55:09	いうふうに思っていたんです。なぜなら設工認だから、
1:55:14	という発想がなくてなんか許可からずっと引きずってきちゃってるような感じがして、2 転 3 転したような
1:55:25	或いは何回も同じようなことを言っているっていう構造になってるかなというところで見てくださいね。それで私の会話とちょっとずれちゃってるかなという気はしてたんですけど。
1:55:35	その構造として一体イトウしていきましようかっていうところ、一番最初に話したほうがよかったかもしれないです。
1:55:46	日本原燃の原田でございますけれども、おっしゃる通り、その辺はやっぱ 2 ポツの設計の基本的な考え方のところから連れてきていると。
1:55:57	ここであれですね、⑤の 1 ポツ名
1:56:01	内事案④でもうそもそも許容温度、
1:56:06	超える場合にはっていう書き出し自体がおかしいかなと我々そもそも設計するときには、
1:56:15	一括で持たせるというオプションだったり、或いは耐火塗装をやるといったオプションだったり、そういうのを適切に組み合わせて設計していくんだと。
1:56:29	いう国連まあ整理で考えるとですね。
1:56:32	整理を行う上で、どんな設計をするかっていうのは 4 ポツ 1 でこんな考慮しますよという整理になっていくのかなと考えます。そう整理していくと先ほどの離隔距離表っていうのは、設計方針の
1:56:51	考慮事項の一つかなと。
1:56:54	いうふうに整理するのが一番流れがいいかなとは考えております。以上です。
1:57:03	規制庁の古作です。そうすると防護対策も 4 ポツのほうに入り込んでいってっということだと思んですけどその理解でいいですか。
1:57:13	日本原燃の原です。要望な感じになると思います。それでこうだんでは対策が適切かどうかという、評価のような話が展開されるかなと考えております。以上です。

1:57:38	それ調査です。私も今の話でしっかりきましたので、それで1よろしく願います。
1:57:46	8ポツ防護対策と今はなってますが、この辺どういうふうに今の話も踏まえというふうに展開されますでしょうか。
1:58:02	日本原燃の原田でございます。今の話の通りですね、まず対策っていうのは4ポツのほうに、
1:58:11	整理いたします。
1:58:14	その対策が
1:58:18	適切なものかどうかっていうのを逆にですね、この後ろのほうで整理していくと。
1:58:26	いうふうに考えております。以上です。
1:58:30	規制庁過密でとそそういう認識で一定でも対策というタイトルとかそういうところから見直すことになると思うんですが、ここは結局評価結果何せ测温設計、設計の結果がここに
1:58:47	ちよいされるっていうところだと思うんですが、これ。
1:58:51	でよろしい。
1:58:53	是非とも、
1:58:55	日本原燃の原です。そのように考えております。
1:59:01	規制庁かですね、それを踏まえて、国庫に今回活動のほうで設計結果とかいろいろ展開されていて、事故調のヒアリングを踏まえて何か横展開すべきこととか見ますと、
1:59:23	規制庁コサクです、すみません
1:59:26	それを8ポツで書いてある内容が、また、日本発に入れたりして再構成するので、変わってくると思うんですけど、やはりそっちの2ポツなり4ぽつで話したように、まず、
1:59:44	特に飛来物防護ネットは距離とか関係なく、関係なくてちょっと語弊がありますね。資金のところは塗るんだというコンセプトがあった上で、
1:59:56	ということなので、今の垣見とそれもないですから整理をいただくということがまずあるんですけど、その上で、起伏の話をもう支持構造物だけではなくて、
2:00:13	今(2)で見ると、鋼材防護版サンゲツ版はっていうのが、
2:00:21	書いてあってですね。
2:00:26	法令上%。
2:00:29	2ポツなり4ぽつなりで明確になっているんですかね。
2:00:34	なんてなければやなんてしていただければいいんですけど。
2:00:37	日本原電合わせ別盤は、出てきてるんですけど防護版ってこれ何でしたっけ。

2:00:51	日本原燃レビューですねこっちが飛来物防護版の話をして、
2:00:57	前段のほうで進め夏支持構造物以外の話がクリア。
2:01:04	になってるかったらそこは今なっていないのでちょっとそこはちゃんと記載の見直しが必要かと思います。以上です。
2:01:13	規制庁姑息です
2:01:16	支持構造物、防護版は確かにネットはそもそも防護しないと言っておきながらってところがあるので、
2:01:24	なんでって感じはしますけど、やりたい気持ちはよくわかるんですけど、そこは どういう位置付けになるんでしたっけ。
2:01:33	日本原燃の原ですけど、防護板もですね天然にはっている防護板がございま してですね、そちらは航空機火災で広告落ちる可能性を考慮しまして、点目は ね、それと、
2:01:49	いうところで記載をしました。以上です。
2:01:53	規制庁コサクです。はい。
2:01:58	ちょっと、
2:01:59	直上には落ちることは想定。
2:02:02	しなくていいように許可では整理をしたんですけど、直近に落ちることも考える んだから、目 2、
2:02:10	燃料がばらまかれることも一応、
2:02:15	設計って、具体の設計では、
2:02:18	どうせやるんだし、対応しましょうかっていうことですかね。
2:02:23	日本原燃田中でございます。
2:02:27	ちょっとちょっと直近ねと思いますのでええとまあ離隔上の影響範囲にあるも のについて問い合わせで点目にあるものについて濡らしていただくという話で ございます。さらにそこに補足をしますと、次回のほうには、
2:02:43	出てくるものとなるんですけどもその母岩の裏に棒対象有る場合っていった 場合、その考えともたないと、その裏のものが焼けてしまうっていうことある のでその防へと鉛直面 1 と 2 立ってる防護に対しては塗装したりっていうする ものが、次回以降出てきます。
2:03:02	以上です。規制庁コサクですわかりましたあれですね、冷却塔の斜熱盤みた いな関係に防護版がなってるってことですね。
2:03:13	人間の田中です。その通りでございます。
2:03:17	規制庁コサクですわかりましたその辺りは書いていただかないとわからないっ ていう、まさにそういうところだと思うので、整理をよろしく願います。それで なお買われてきて、あっち

2:03:32	大津で
2:03:35	の使用済んの。
2:03:46	そもそも底上げ等 8 ことは 4 ぽつだったり 6 ポツだったり、
2:03:53	ちりばめられるという。
2:03:57	ここは主に 4 ポツに入るとのことだと思うんですけど。
2:04:01	そちらであれですね、大臣認定試験の関係だとか、
2:04:10	整理をしていただいて設計条件とかがわかるようになった結果、
2:04:15	ということですかね。
2:04:18	はい、よろしくお願いします。
2:04:22	はい、日本原燃蝦名です。そっち出しました。
2:04:28	成長かですね。2-3 列盤に関しましては、イトウというふうにやると展開しますでしょ。
2:04:40	はい。
2:04:42	失礼します。日本原燃の蝦名です。こちらについては、パソコンの話は先ほどの 8 ポツをどこにも結果って話に引きずられるかと思うんですけど、
2:04:57	圧倒的に記載が、多分足りてないので、そちらについては記載はもうちょっと拡充するような形で考えたいと思います。以上です。
2:05:08	規制庁かですね。はい、それではよろしくお願いします。本文側はほかあと何か必要な
2:05:16	本文に書いておくべきことっていうことで何か必要なもの等ございます。
2:05:22	日本例みたいですが。あとは直接的に各っ放しではないかと思えますけど、そういう整理をする中で設工認本文の記載との関係っていうのを、
2:05:37	どうするのかっていうのをちょっと念頭に置きながらというふうなところが重要なところかと考えてございます。以上です。
2:05:49	静聴課です。00 シリーズなんかからどんどん展開していた
2:05:56	行くと思いますんで、こういうことを説明資料の仕切りの構成等も考えながら、
2:06:06	記載していただければと思いますので、引き続きよろしくお願いします。
2:06:11	規制庁頑張ろうかあります。
2:06:25	規制庁ヶ月本部側の五つについて特にほかのないようでしたら規定と言われる金額というのが今後の進め方、スケジュール感なんですけど、
2:06:36	どのようにお考えでしょうか。
2:06:45	日本原燃みたいです焼損しかない。
2:07:18	日本原燃の蝦名です。
2:07:22	まずは今の
2:07:24	ような考えちゃったっていかねず流れとかそういうものを会合資料で表す。

2:07:34	方向にして
2:07:39	こちらの資料修正はですね。
2:07:45	ちょっと今んとこ本当本当は会合前にいたさいとこなんですけど。
2:07:55	ちょっと会合の後になってしまうかなというふうに考えているんですが、
2:08:01	はい、今んところはちょっとまだ即答はできませんがそんな状況かなというふう に考えてございます。
2:08:08	以上です。
2:08:11	規制庁コサクですけど、まずですね、会合終了骨格をっていうのは、朝進出な んですけど、話を早くきいて対応しなきゃいけないので、
2:08:29	22日のヒアリング5号、
2:08:32	だと思いますので、
2:08:35	途中で作業月曜日中にあったというふうに言われてましたから、
2:08:42	対応の朝に
2:08:46	午後のヒアリング資料の修正版という、今日出したやつも修正版っていうのを、
2:08:52	わしていただいて、／修正箇所とかを踏まえながらヒアリングで説明いただい ていると考えがどういうふうになっているのかっていうことが理解
2:09:03	駅、かつ、
2:09:06	補足説明資料の修正というのはどういうふうになっていくのかということもわか ると思いますので、最終的にはまずはそこはやっていただけますか。
2:09:17	はい。日本原燃の蝦名です。多分日程を考えるとするとちょっとそうせざるをせ ざるを得ないってたらおかしいですけど多分そういうスケジュールになってしまう と思うのでそういう対応させていただきたいと思います。
2:09:32	以上です。
2:09:34	規制庁コサクですってその上で、そのときにその補足説明資料がどこがどう拡 充されたり、いつぐらいにできるのかっていったこと等は、少なくとも口頭では 聞かなきゃいけないと思うんですけど。
2:09:52	それだけで
2:09:55	理解できるかどうかちょっと私の頭の整理できてないんですけど、加算最低限 ここは見ないと、
2:10:04	開口で対応できないとかっていうのがあればそれぐらいは目標なり何なり提示 いただくっていうこともあるのかなとは思いますが、どんなものでしょうか。
2:10:16	三つ目超過ですちょっと私の都合で大変申し訳ないんですが、
2:10:21	日本原燃の6ヶ所回れ訓練に参加することになっておりまして、
2:10:27	2425不在になりますので、
2:10:32	そう。

2:10:34	できるバス 23 までについていう話ではあるんですが、それだと相当厳しい。
2:10:41	ですよ。
2:10:44	やっぱすみません日本原燃礼儀なんです。
2:10:47	まずは先ほどコサクさんがおっしゃったように、当会合資料を骨格を指名するようにしてそれを 21。
2:10:57	注 20 には朝ですねには提出できるようにしますので、22 のヒアリングの中ではこういった形で補足説明資料とのこういった構成になってどの部分が拡充されるというのは、少なくとも口頭ではいえるようにするということ。
2:11:15	かと思うんですけど、等々、
2:11:18	この 23 日とされてるのは 23 日に
2:11:23	までに何をっていうところかと思うんですけど。
2:11:28	規制庁課です。審査会合で
2:11:33	同資料 7 メーカーが補足説明資料でどういうふうに展開されているかというところがまずは肝心だと思います。
2:11:45	町コサクですけど、補足説明資料はあくまで書類整備としてやればいいことなので、介護の時に整合した図書になっているところまではなくても別に問題はない。
2:12:00	とっていてですね。ただパワーポイントだけの情報で議論ができるのかっていうことがあるので、会合で議論しなきゃいけないものでパワーポイントでは情報が不足しているということがあれば、
2:12:17	追加計上しておいてもらうということだと思うんですね、その中で今回の資料では足りない追加しといて欲しいものっていうのは、
2:12:27	お母さんのところ、
2:12:28	になるんでしょうか。成長ヶ月人流観点で復旧関係、あと大臣認定試験の整備の状況。
2:12:39	あと、
2:12:42	飛来物防護ネットへの
2:12:45	カタノ相談員の
2:12:49	考え方というか、本当は設計、設計結果窓口ところですね。
2:12:53	そういったところかと思えます。
2:13:00	規制庁コサクです。私もそう思います。
2:13:03	なので、その抜粋でもいいですします。
2:13:09	さらっと体裁ぐらい直したところでの突っ込んだものでもいいですし、今の部分の拡充ということは、
2:13:18	可能な範囲やって水曜日提出っていうこと受け対応いただけますか。

2:13:26	日本原燃蝦名です。はい所長差し替えに今ヒット復旧の話とあと大臣認定の整備っていうのが完全に書類かさものないですのでそこは追記します。あと飛来物ネットの施工の話も
2:13:45	追加する形で水曜日为目标に出したいと思います。以上です。
2:13:55	規制庁かですね、それでよろしくお願いします。
2:13:59	スケジュール関係は他の修正も含め妥当どのぐらいになりそうなのでしょうか。
2:14:16	ごめんねみないです。そう。ちょっとすみません、全体のところについては、22のヒアリングの中でちょっとどういったスケジュールでというのはお示しさせていただきますいなと思います。以上です。
2:14:33	規制庁からです。よろしくお願いします。
2:14:38	それは後他何か必要なこと。
2:14:43	ありますでしょうか。成長の原燃側、
2:14:51	日本原燃蝦名です。日本原燃側特にございません。
2:15:00	規制庁かレスしたら、
2:15:03	そう田尻さんを開始します。
2:15:06	はい、規制庁から2列一応本日予定された項目これですべてかと思うんですが、現年学生情報は絶対通して何かある方おられますか。
2:15:20	特にないようであればこれでヒアリングを終了したいと思います。
2:15:24	よろしいですかね。はい。それではこれでヒアリングはい上げにおける大丈夫です。です。
2:15:30	結局カードはもうちょっとか何かありますか。
2:15:34	大丈夫です会合資料っても出ているんですかね、おそらくなんですけどちょっとまだメールが見えてるそうですかわかりました。はい。大丈夫です。
2:15:45	歳入現状です。出てます。出しました。以上です。
2:15:49	わかりましたそれを踏まえてまた火曜日よろしくお願いします。以上です。
2:15:55	よろしくお願いします。
2:15:57	はい、規制庁度ですそれではこれでヒアリング終了したいと思います。お疲れ様でした。
2:16:02	はい、ありがとうございました。はいどうぞ。